

第44回秋田県優良工事表彰 第9回秋田県優良業務表彰



令和5年9月
秋 田 県



©2015秋田県んだッチ

表紙:第44回秋田県優良工事表彰から

上 :地方道路交付金工事(改築) 03-HF42-K1

左下:浦山地区 農地中間管理機構関連ほ場整備工事 00702-K14

右下:市川堰3期地区 ため池等整備(用排水)工事 01402-K01

第44回秋田県優良工事表彰式 第9回秋田県優良業務表彰式

とき 令和5年9月7日(木)

午後3時30分～4時30分

ところ 秋田県庁正庁

次 第

1. 開式のことば
2. 式 辞 知 事
3. 来賓祝辞 県議会議長
4. 表彰状授与(工事) 知 事
5. 表彰状授与(業務) 知 事
6. 受賞者謝辞(工事) 受賞者代表
7. 受賞者謝辞(業務) 受賞者代表
8. 閉式のことば



第44回秋田県優良工事表彰から

左上:新複合化相談施設(仮称)建築工事

右上:鳥水台地区 災害関連緊急治山工事 RE1124A911

下 :床上浸水対策特別緊急工事 02-KY36-70

目次

・お祝いの言葉	2
・第44回秋田県優良工事表彰工事一覧表	3
・表彰工事の概要	5
・秋田県優良工事表彰選考委員会及び幹事会名簿	36
・秋田県優良工事表彰要綱	37
・第9回秋田県優良業務表彰業務一覧表	38
・表彰業務の概要	50
・秋田県優良業務表彰選考委員会及び幹事会名簿	51
・秋田県優良業務表彰要綱	52



秋田県知事
佐竹 敬久

お祝いの言葉

秋田県優良工事表彰及び秋田県優良業務表彰を受賞されました皆様に対し、心からお祝い申し上げます。

優良工事表彰制度は、県内建設企業の技術力の向上を目的に、昭和55年に創設され、今年度で44回目を迎えました。今回受賞された31件は、対象となる1,671件の工事から選定されたもので、優れた施工技術と綿密な施工管理のもとに完成した工事であります。

また、優良業務表彰制度は、測量や調査・設計に携わる県内企業の技術者の確保・育成を図ることを目的に平成27年度に創設され、今年度で9回目を迎えました。今回は、表彰部門に用地調査等業務を新たに加え、1,063件の業務から12件を表彰するものであり、いずれも豊富な知識と優れた技術により完了した業務であります。

建設産業は、地域の生活や産業活動を支える社会資本整備の担い手としてだけでなく、県民の安全・安心な暮らしを守る地域防災の担い手として、また、地域の経済と雇用を支える基幹産業として、大変重要な役割を果たしております。

県では、今後とも、県内建設関連企業の受注機会の確保や、建設ICT・IoTをはじめとした建設DXの加速化等による活動領域の拡大を支援するとともに、技術・技能の継承や安定的な事業運営が図られるよう、若者や女性などの建設人材の確保・育成や、建設現場における生産性向上に向けた取組を推進してまいります。

受賞された皆様をはじめ、建設産業に携わる皆様におかれましては、今後とも「ふるさと秋田」の更なる発展のため、一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます、お祝いの言葉といたします。

第44回秋田県優良工事表彰 工事一覧表(1/2)

番号	特別表彰	工事名 (路河川名)	工事箇所	受注者名	代表者名	発注公所
1	特別表彰 (5回)	公共堰堤改良工事 03-NG22-K1	鹿角郡 小坂町 小坂	小坂建設株式会社	工藤 繁夫	鹿角 地域振興局
2		浦山地区 農地中間管理機構関連 ほ場整備工事00702-K14	大館市 軽井沢	佐藤吉株式会社	佐藤 陸斗	北秋田 地域振興局
3		地方道路交付金工事(改築) 03-HF74-20	北秋田市 綴子	朝日建設株式会社	小林 郷司	北秋田 地域振興局
4		県単河川改良工事(緊急自償) 04-K162-10	北秋田市 阿仁 小淵	秋田土建株式会社	北林 照一郎	北秋田 地域振興局
5		大規模特定河川工事 03-KG50-10	大館市 沼館	花岡・白川特定建設工事 共同企業体	鈴木 泚士	北秋田 地域振興局
6		上中沢地区 機能強化・老朽化対策工事 RC1115A012	能代市 中沢	大森・寒風特定建設工事 共同企業体	大森 三四郎	山本 地域振興局
7		地方道路交付金工事(改築) 03-HF35-40	能代市 二ツ井町 荷上場	株式会社コンノ土木	金野 憲行	山本 地域振興局
8		真崎堰地区 ため池等整備(用排水)工事 01303-K01	南秋田郡 五城目町 館越	株式会社セコー	加藤 政之	秋田 地域振興局
9		天王東地区 湛水防除工事 00404-K01	潟上市 天王	天喜建設株式会社	天野 貴明	秋田 地域振興局
10		大規模特定河川工事 03-KG20-10	秋田市 檜山太田町	菅与組・セコー特定建設 工事共同企業体	菅原 孝次郎	秋田 地域振興局
11		床上浸水対策特別緊急工事 02-KY36-70	秋田市 雄和 新波	板橋組・豊興産特定建設 工事共同企業体	板橋 広光	秋田 地域振興局
12		道路メンテナンス工事(トンネル) 04-F124-30	秋田市 千秋明德町	株式会社沢木組	沢木 則明	秋田 地域振興局
13		土砂災害対策道路補助工事 (土砂災害対策) 03-F164-70	秋田市 河辺 財ノ神	宮原組・沢木組特定建設 工事共同企業体	宮原 竜也	秋田 地域振興局
14		床上浸水対策特別緊急工事 02-KY36-80	秋田市 雄和 新波	アキモク鉄工株式会社	花下 智之	秋田 地域振興局
15		烏水台地区 災害関連緊急治山工事 RE1124A911	由利本荘市 南ノ股	山勇建設工業株式会社	猪股 勇樹	由利 地域振興局
16		地方道路交付金工事(災害防除) 03-F165-K1	由利本荘市 米坂	菊地建設株式会社	橋本 聡	由利 地域振興局
17		道路メンテナンス工事(橋梁補修) 03-F155-70	由利本荘市 矢島町 元町	山科建設株式会社	山科 優	由利 地域振興局
18		佐曾田地区 緊急予防治山工事 RF1102A021	仙北市 西木町 西明寺	株式会社西宮組	西宮 優太	仙北 地域振興局
19		宮田福島地区 農地集積加速化基盤整備工事 09403-K06	大仙市 神宮寺	株式会社小笠原組	小笠原 武男	仙北 地域振興局
20		大戸川地区 かんがい排水工事 00503-K06	横手市 百万刈	高吉建設株式会社	佐藤 利昭	仙北 地域振興局

※ 特別表彰受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない。

第44回秋田県優良工事表彰 工事一覧表(2/2)

番号	特別表彰	工事名 (路河川名)	工事箇所	受注者名	代表者名	発注公所
21		総合流域防災工事 04-KB17-10	大仙市 土川	株式会社宮原組	宮原 竜也	仙北 地域振興局
22		広域河川改修工事 03-KA20-83	大仙市 協和 下淀川	進藤建設株式会社	進藤 章	仙北 地域振興局
23		道路メンテナンス工事(橋梁補修) 04-F156-22	仙北市 田沢湖 生保内	株式会社山田塗料店	石川 浩一	仙北 地域振興局
24	特別表彰 (10回)	地方道路交付金工事(改築) 03-HF42-K1	横手市 雄物川町 大沢	株式会社吉田建設	吉田 昌平	平鹿 地域振興局
25		柵内沢山地区 緊急機能強化・老朽化対策工事 RH1113A311	湯沢市 柵内沢山	株式会社高嶋組	高嶋 伸夫	雄勝 地域振興局
26		地方道路交付金工事(改築) 03-HF25-K1	湯沢市 稲庭町 内記川原	株式会社皆瀬土木	高橋 光明	雄勝 地域振興局
27		新複合化相談施設(仮称)建築工事	秋田市 手形住吉町	林・伊藤工業・珍田・栗野 特定建設工事共同企業 体	林 徳彦	福祉政策課
28		夏瀬橋橋梁改修工事 KR04-10	仙北市 田沢湖 卒田	株式会社門脇組	門脇 隆広	自然保護課
29		市川堰3期地区 ため池等整備(用排水)工事 01402-K01	山本郡 藤里町 如来瀬	大森・コンノ特定建設工 事共同企業体	大森 三四郎	農地整備課
30		能代科学技術高等学校 第二体育館機械設備工事	能代市 盤若町	株式会社柴田ボイラ工業	柴田 重雄	教育庁総務課 施設整備室
31		能代科学技術高等学校 第二体育館電気設備工事	能代市 盤若町	有限会社石井電気工事	石井 秀雄	教育庁総務課 施設整備室

※ 特別表彰受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない。

1 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	公共堰堤改良工事 03-NG22-K1		
路河川名/地区名	砂子沢川(砂子沢ダム)	施工地名	鹿角郡小坂町小坂
商号又は名称	小坂建設株式会社	許可番号	05-000105
請負額	119,044,200円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役社長 工藤 繁夫		
監理技術者等	監理技術者 佐藤 俊		
監督実施公所	鹿角地域振興局(建設部)		
主任監督員	桜庭 正人	監督員	佐藤 利将
工期	令和4年3月18日～ 令和4年12月2日	完成年月日	令和4年12月2日
概要	1) 施工延長(排土地) L=118.9m, 掘削工 V=18,930m ³ 2) 施工延長(排土処理地) L=90.0m, 盛土工 V=12,900m ³ 3) 施工延長(管理型盛土地) L=30.0m, 盛土工 V=4,200m ³		
特徴	1) 掘削及び盛土工が主要工種であり冬期施工は困難 2) 片押し施工となる現場(出入口複数確保不可・通り抜け不可) 3) 重金属を含む地層があり掘削及び運搬時に分別が必要		
写 真			

着手前



完成



◆監督実施公所の推薦理由



- ・本工事は、斜面地すべりの恒久対策として排土工を実施し、排土により発生する残土は4km程離れた受入地に搬出する工事である。
- ・片押し施工となる現場条件、地すべり計器等支障物の撤去及び移設調整、重金属を含む岩石の分別など、工程の支障となる案件が多々あるほか、主要工種が土工であるが、豪雪地帯のため冬期施工が困難な現場である。
- ・現場の施工条件に対し、ICT技術の活用、サイクルタイム計測により車両の滞留が発生しない運搬計画、小段及び縦排水の張コンクリート部のプレキャスト化、電子小黒板の活用など、施工管理上で効率化を図り、本格的な降雪を前に現場を完成させた。

◆施工業者からのPR

- ・ICT施工を活用して排土地の複雑な形状を仕上げるため、平面・縦断・横断の整合性がとれるよう特に留意して施工にあたった。また後発工事の施工および運搬車両の走路に支障が無いよう、発注者と協議しながら3次元設計データを作成した。
- ・現場は地すべり観測計器が多数設置され常時稼働中であり、掘削の支障となっていたが、業務委託業者との綿密な工程管理を実施し、移設時期を調整した。移設は複数回に及んだが臨場に費やす時間を最小にすることができたため、施工管理上の損失を最小限にすることができた。また、地元高校生対象の職場見学会の受入体制を整え、座学と現地説明会を開催することにより公共事業に対する理解を深めてもらい、土木工事への関心も寄せてもらえた。

2 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	浦山地区 農地中間管理機構関連ほ場整備工事 00702-K14		
路河川名/地区名	浦山地区	施工地名	大館市軽井沢
商号又は名称	佐藤吉株式会社	許可番号	05-001178
請負額	77,090,200 円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 佐藤 陸斗		
監理技術者等	現場代理人 嶋田 吉永		
監督実施公所	北秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	鈴木 努	監督員	加藤 龍
工期	令和 4年 3月31日～ 令和 5年 1月31日	完成年月日	令和 5年 1月16日
概要	1) 整地工 A=5.1ha 2) 用水路工 L=637m 3) 排水路工 L=663m 4) 道路工 L=717m		
特徴	1) 整地工竣工期限のある工事 2) ICT技術を活用した工事 3) 災害ボランティアによる地域貢献		
写 真			
着手前（全景）		完成（全景）	
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 整地工の出来映えは、現場条件・天候による影響が大きいですが、地表面水排除を促す溝切りと長期天気予報を考慮した工程調整により、工期制約があるなか、良好な現場条件下で早期に中間検査対象工事を完成させた。
- ・ 最新のICT技術を導入し、作業の効率化・施工品質向上、生産性の高い働きやすい職場環境を創造している。
- ・ 令和4年8月の豪雨災害発生時、地区と隣接する主要道路国道103号が土砂災害のため通行止めとなった。これにより地区内市道が迂回路となり、災害ボランティア（道路誘導員）を派遣し地域に貢献している。

◆施工業者からのPR

- ・ 中間検査期限が定められていたことから、梅雨を避けた工程が課題となっていたが、田面表面水排除のための溝切りを行い、工期短縮及び現場条件改善を図り、早期に中間検査を受検することが出来た。
- ・ 現場打ち排水樹、大型可変側溝の基礎部は現場打ちコンクリート施工の設計となっていたが、プレキャスト製品の使用承諾を得て工期短縮を図った。また軟弱地盤箇所の水路施工時、基礎処理を行い、不等沈下防止を図った。
- ・ 整地工、用水路工、排水路工の測量作業簡素化を図るため、オートレーザーレベル（勾配適用型）を使用し、過掘防止・施工精度向上に努めた。

3 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金工事（改築） 03-HF74-20		
路河川名/地区名	矢坂糠沢線	施工地名	北秋田市綴子
商号又は名称	朝日建設株式会社	許可番号	05-002995
請 負 額	97,433,600 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 小林 郷司		
監理技術者等	監理技術者 田中 峰樹		
監督実施公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	齋藤 直人	監 督 員	石倉 広大
工 期	令和 4年 4月 4日～ 令和 4年11月 2日	完成年月日	令和 4年 9月29日
概 要	1) 延長 L=230.0m 2) 掘削工 V=6,650m ³ 3) 法面整形工 A=660m ²		
特 徴	1) 土質が軟岩による掘削工事 2) 一般道と密接した、安全に最も配慮が必要な施工箇所 3) ICT活用モデル工事（掘削工、法面整形工）		
写 真			
			

◆監督実施公所の推薦理由


- ・ ICT建機による精度の高い施工に加え、ドローンを活用した施工管理資料の作成など、出来形管理、品質管理向上に努めた。最新技術を積極的に活用し建設業界のイメージアップに繋がる活動を行っており、評価できる。
- ・ 災害の未然防止対策、豪雨災害復旧対応のほかライフラインの漏水復旧協力など、自然条件、社会条件への対応を積極的に行った。
- ・ 地域住民との積極的なコミュニケーションにより、良好な関係を築き苦情がなかった。

◆施工業者からのPR

- ・ 土質が軟岩であったが、ICT施工により、丁張設置の省略による早期着手と実作業期間の大幅な短縮を図り、別途の指示事項も工期内に対応した。
- ・ 軟岩の法面整形は施工が困難であるが、ICT建機の活用により、熟練オペレーターと同等の精度の施工が可能になり、規格値の50%以内に収めることができた。
- ・ ドローンを活用した工事写真により、担当監督員や地域住民と進捗状況を共有でき、事業の理解度向上にも役立った。
- ・ 建設DX加速化事業費補助金を活用し、ICT建機を購入・活用したことにより、今回工事のみならず、以降の工事においても、高い作業効率と生産性の向上に繋がっている。

4 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	県単河川改良工事(緊急償) 04-K162-10		
路河川名/地区名	阿仁川	施工地名	北秋田市阿仁小淵
商号又は名称	秋田土建株式会社	許可番号	05-081727
請 負 額	56,347,500 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 北林 照一郎		
監理技術者等	主任技術者 小林 勇輝		
監督実施公所	北秋田地域振興局 (建設部)		
主任監督員	越前谷 宏昭	監 督 員	小笠原 哲士
工 期	令和 4年 9月16日～ 令和 5年 3月24日	完成年月日	令和 5年 3月24日
概 要	1) 施工延長 L=84.0m 2) 河川土工・水路工 N=一式 3) 法覆護岸工 A=1,221㎡		
特 徴	1) ICT土工を活用した掘削及び法面整形の施工 2) 同時期施工となる隣接工区との調整を要する施工区間 3) 厳しい気象条件の中での作業		
写 真			
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 当該工事における河川土工はICT技術を活用しており、冬期間の施工であったが高精度で出来形や品質を確保する施工管理を行っている。
- ・ 護岸施工における工夫、施工機械の使用装置への新技術の導入など、施工における様々な取組を行い、効率化や品質の向上を図っている。
- ・ 降積雪などによる厳しい気象状況に対応し工程等を適切に管理し、隣接する工区との同時期施工に対する綿密な作業調整を行ったほか、近隣住民や漁協との丁寧な折衝によりトラブル無く工事を進め、完全週休2日についても達成している。

◆施工業者からのPR

- ・ ICT技術の活用として、河川土工に自社所有機の3次元マシンガイダンスバックホウを活用し、起工測量には無人航空機(ドローン)を使用したほか、草木が多い箇所ではレーザースキャナーを併用し測量を行った。また、降雪期での出来形測量となるため、こまめにレーザースキャナーにて出来形を計測するなどし、降雪期の中でも工程に影響することなく管理を行った。
- ・ 工程及び施工条件的に厳しい中での施工であったが、建設業のイメージアップとして、ICTの活用、完全週休2日制達成、女性技術者の活躍を図った。
- ・ 安全対策として、女性職員による店社パトロールの実施、過積載防止対策として、ペイロードメータ等を使用するなど安全な施工を行い、無事故で工事を完成させた。

5 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	大規模特定河川工事 03-KG50-10		
路河川名/地区名	下内川	施工地名	大館市沼館
商号又は名称	花岡・白川特定建設工事共同企業体		
請 負 額	205,370,000 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	花岡土建株式会社 代表取締役 鈴木 洸士		
許 可 番 号	05-002129	監理技術者等	監理技術者 今川 徳正
(構 成 員)	白川建設株式会社 代表取締役 白川 懸士		
(許 可 番 号)	05-002358	(監理技術者等)	主任技術者 佐藤 隼人
監督実施公所	北秋田地域振興局 (建設部)		
主任監督員	小塚 貴紀	監 督 員	田澤 はるか
工 期	令和 3年 9月17日～ 令和 5年 1月13日	完成年月日	令和 5年 1月13日
概 要	1) 可動堰本体内工 L=58.3m (右岸L=35.8m、左岸L=22.5m) コンクリート V=618.0m ³ 2) 仮設工 N=1式		
特 徴	1) 可動堰本体を一次施工(右岸)、二次施工(左岸)に分けて施工 2) 可動堰本体支持層の地盤改良(浅層改良、中層改良) 3) 厳しい気象条件の中での作業(R4.8月豪雨災害)		
写 真			
一次施工完成		二次施工完成	
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 農業用水の取水時期による制約や関連工事との工程調整など、高度な工程管理が求められたが制約期間内に工事を完成させた。
- ・ 河川内での通年施工であり、降雨等の気象状況に大きな影響を受ける工事であったが、水位上昇に配慮した仮設計画などが評価できる。
- ・ 夏期や冬期のコンクリート打設において、施工時期に合わせた対策を行ったことで、有害なクラックは発生しておらず、十分な品質が確保されている。
- ・ 令和4年8月豪雨に対する復旧作業は、コンクリート構造物に十分配慮したものとなっている。

◆施工業者からのPR

- ・ 河道を切り替えながら一次施工(右岸側)、二次施工(左岸側)と通年施工を実施したものであるが、コンクリートの施工時期が真夏、真冬で打設量が多いことから、品質を確保するため気象条件に合わせた対策を講じた。また、昨年8月の豪雨災害により多大な被害を受けたが、その後の復旧作業においては施工途中のコンクリート構造物に影響を与えないよう配慮することで適正な品質を確保し工事を完成することができた。
- ・ 河川内での通年施工となることから水位上昇に配慮した仮設計画を立案・実施した。
- ・ 農業用水の取水時期に合わせた工程管理が求められ、次期取水まで完成させる必要があったが、柔軟な発想や工夫により課題を克服した。

6 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	上中沢地区 機能強化・老朽化対策工事 RC1115A012		
路河川名/地区名	上中沢地区	施工地名	能代市中沢
商号又は名称	大森・寒風特定建設工事共同企業体		
請 負 額	43,808,600 円	工 種・格 付	法面 A級
代 表 者	大森建設株式会社 代表取締役 大森 三四郎		
許 可 番 号	05-081607	監理技術者等	現場代理人 舘岡 勇人
(構 成 員)	株式会社寒風 代表取締役社長 菅原 廣悦		
(許 可 番 号)	00-023067	(監理技術者等)	主任技術者 佐藤 夏樹
監督実施公所	山本地域振興局（農林部）		
主任監督員	神成 猛	監 督 員	加藤 寛樹
工 期	令和 3年 9月10日～ 令和 4年 4月28日	完成年月日	令和 4年 4月20日
概 要	1)法切工 V=37m ³ 2)現場吹付砕工 A=1,090m ² 3)モルタル吹付 A=9m ² 4)既設木製砕工撤去 A=746m ²		
特 徴	1)老朽化した木製法砕撤去及び法切・斜面整形を行い現場吹付法砕工により法面の安定化を図る工事 2)民家に隣接しており、施工スペースも狭く厳しい条件		
写 真			
 <p style="text-align: center;">着手前</p>		 <p style="text-align: center;">完成</p>	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、老朽化により機能が低下した既設木製法砕工を撤去し、現場吹付法砕工等を施工することで、山腹斜面の安定化を図る工事である。
- ・施工地に住宅地が近接しているため、地域住民への十分な配慮が必要であったが、工事内容の周知と協力依頼、適切な安全対策を講じることでトラブルなく完成させた。
- ・既存施設の撤去や残土搬出にベルトコンベアーと軽トラックを使用するほか、撤去物の分別作業ヤードを借上げ、作業効率の向上による工期短縮に努めるなど、安全管理・工程管理ともに優れている。

◆施工業者からのPR

- ・現場に接続する作業通路は、地域住民が農作業用道として利用しているため、農繁期以外に地域住民との連絡を密に行い、無事故で工事を完了させたとともに、一部の作業通路は現場完了後に敷砂利による道路整備を行った。
- ・施工箇所は民家が隣接し、撤去材の分別等の場所が無いため、仮置き場を借上げ作業箇所から仮置き場へ1次運搬し、その後撤去材の分別作業を行った後、産業廃棄物処分場へ2次運搬を行った。
- ・十分な広さがある仮置きヤードを確保することで、人力と重機を併用した分別が可能となり作業効率の向上が図られた。

7 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金工事（改築） 03-HF35-40		
路河川名/地区名	西目屋二ツ井線	施工地名	能代市二ツ井町荷上場
商号又は名称	株式会社コンノ土木	許可番号	00-009694
請 負 額	127,650,600 円	工 種 ・ 格 付	舗装 A 級
代 表 者	代表取締役 金野 憲行		
監理技術者等	現場代理人 西方 光博		
監督実施公所	山本地域振興局（建設部）		
主任監督員	木場 俊明	監 督 員	松前 政勝
工 期	令和 4年 4月28日～ 令和 4年12月26日	完成年月日	令和 4年12月26日
概 要	1) L=740m、下層路盤 A=3,550m ² 、上層路盤 A=3,610m ² 、 表層 A=4,430m ² 2) 橋面表層 A=1,740m ² 3) 路側防護柵 L=859m、2号取付道路 N=1式		
特 徴	1) 降雪前に開通を目指すバイパス工事 2) 新設グミノ木橋の舗装工含む前後路線の舗装工事 3) 他工事との工程調整を要する施工工区		
写 真			
完成 起点～終点			完成 終点～起点
完成 起点側2号取付道路			
			
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 開通式を控えている中での限られた工期だったが、工程管理に努め、週休2日制度（4週8休）を達成して作業員の労働環境を向上させた。
- ・ 会社を挙げて施工体制の構築に努め、前工事で打設されたコンクリートに養生薬剤を散布するなどの工夫を施し、良好な出来形・品質を確保した。
- ・ 受注者希望型でICTによる施工を実施し、マシンコントロールによるモーターグレーダを用いた路盤工やマシンガイダンスに基づく法面整形により、工期短縮と品質の向上、現場作業の機械化に努めた。
- ・ 路面清掃や草刈りなど、地域への貢献が顕著であった。

◆施工業者からのPR

- ・ グミノ木橋の調整コンクリート、防水工、舗装が出来ないと、橋を渡って本工事を進めることが出来なかったため、受注者希望によるICT施工（下層路盤・上層路盤・路肩盛土）を活用し、前後路線の工期短縮と舗装作業効率の向上を図った。
- ・ 起点側は現道とバイパス入口が重なり、一般車両を通行させながら盛土を嵩上げする必要があったため、盛土材にRC-40を採用し、施工期間の短縮と施工直後の通行を実現した。
- ・ 防草板張付けに際しては、法面から滑落すると10m以上の法長を転落することから、路側防護柵の支柱を先行させ、その支柱を利用して法面用安全带・ロリップを使用したロープ足場とし、安全面でも工夫した。

8 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	真崎堰地区 ため池等整備(用排水)工事 01303-K01		
路河川名/地区名	真崎堰地区	施工地名	南秋田郡五城目町舘越
商号又は名称	株式会社セコー	許可番号	05-005901
請 負 額	106,179,700 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役社長 加藤 政之		
監理技術者等	監理技術者 千葉 正大		
監督実施公所	秋田地域振興局 (農林部)		
主任監督員	佐藤 則志	監 督 員	伊藤 隆史
工 期	令和 4年10月 7日～ 令和 5年 3月24日	完成年月日	令和 5年 3月24日
概 要	1)水路工 L=609m		
特 徴	1)曲部工をプレキャスト製品の活用による品質確保と施工性の向上 2)週休2日制工事(4週8休)の実施		

写 真



◆監督実施公所の推薦理由


- ・建設廃材の産廃処理に伴うコンクリート殻搬出に際し、自重計の無い車両については車載重量測定器を使用し、過積載防止の徹底に努めた。
- ・コンクリートの品質を左右する養生について、全体的に均一な温度となるようジェットヒーターと給熱ホースを使用し、品質向上に努めた。
- ・大型フリームの布設に際し、短尺・斜切品の使用により曲部工が不要となったことや現場打構造物としていた洗い場工と帯工について、プレキャスト製品を活用したことにより施工性の向上及び工期短縮が図られ、週休2日制工事を達成した。

◆施工業者からのPR

- ・冬期間施工による積雪及び低外気温等の自然条件への対策として、生コン打設や伸縮目地施工時の給熱養生及び被水対策を実施することにより、気象に影響されず遅延なく施工した。
- ・工事区間の一部に用地制約があったが、土地所有者及び関係機関と協議打合せを行い、作業ヤードを確保できたことで、進捗に影響なく余裕を持って工事を進めることができた。
- ・水路の曲線部には斜切製品を使用し、現場打構造物もプレキャスト製品を使うことにより、品質も良く効率的に施工ができ工程を短縮することができた。
- ・工事後の後片付けに際し、農道の敷砂利・畦畔盛土・防護柵再設置等は、着手前より綺麗に復旧し、周辺地域の方から以前よりも景観が良くなったと喜んでもらえた。

9 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	天王東地区 湛水防除工事 00404-K01		
路河川名/地区名	天王東地区	施工地名	潟上市天王
商号又は名称	天喜建設株式会社	許可番号	05-009894
請 負 額	125,367,000 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役社長 天野 貴明		
監理技術者等	監理技術者 伊藤 一志		
監督実施公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	畠山 真	監 督 員	菅原 裕輔
工 期	令和 4年 9月 2日～ 令和 5年 3月30日	完成年月日	令和 5年 3月28日
概 要	1)基礎工 N=1式 2)プレキャスト樋門工 N=1式 3)函渠工 N=1式 4)矢板工 N=1式 5)仮設工 N=1式		
特 徴	1)農地の湛水防止を目的とした新排水機場の排水樋管整備 2)工期の制限（非かんがい期間）があるためプレキャスト製品の活用 3)市道の全面通行止め、迂回路を設置しての施工		
写 真			
【着工前】	【施工中】	【完成】	
			

◆監督実施公所の推薦理由



- ・本工事は、農地の湛水防止を目的として新排水機場の排水樋管整備を行うものである。排水樋管工事にあたっては、旧排水樋管及び基礎杭の出現、地下水位が高いことによる湧水の発生があったが、工程に遅延を生じさせることなく適切な対応を行った。
- ・堤体盛土締固め密度試験にあたっては、転圧後即時に締固め密度を判定出来るRI計器により密度管理を行い、連続しての盛土工事により工期の短縮及び工期内完成を行った。
- ・プレキャスト製品の活用により精度の高い出来形を実現したほか、厳冬期におけるコンクリート給熱養生の温度管理も適切に実施しており、良好な品質を確保した。

◆施工業者からのPR

- ・タイトな工程計画に対応するため、施工上適切な下請業者の選定と綿密な打合せ及び資材搬入計画に留意し、工程短縮に努めた。
- ・全体工程の進捗を図るうえで重要なコンクリート工種は早強コンクリートで承諾してもらい、構造物全体を囲むようにシート養生し、寒中コンクリートの給熱、湿潤（散水）養生を充実させ全打設コンクリートの温度管理を徹底し、打設～脱型～次工程と遅延なく管理し工程短縮に努めた。
- ・厳冬期のコンクリート打設で、前日から全周シート養生しても均しコン・組立鉄筋に氷が付着する状態だったが、温水ハイウォッシャーで洗浄・解氷し、コンクリート打設を行った。

10 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	大規模特定河川工事 03-KG20-10		
路河川名/地区名	太平川	施工地名	秋田市榎山太田町
商号又は名称	菅与組・セコー特定建設工事共同企業体		
請 負 額	241,349,900 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	株式会社菅与組 代表取締役 菅原 孝次郎		
許 可 番 号	05-000958	監理技術者等	監理技術者 菅原 義勝
(構 成 員)	株式会社セコー 代表取締役社長 加藤 政之		
(許 可 番 号)	05-005901	(監理技術者等)	主任技術者 鳥井 憲朗
監督実施公所	秋田地域振興局 (建設部)		
主任監督員	加藤 忍	監 督 員	保坂 俊輔
工 期	令和 4年 4月 1日～ 令和 5年 3月24日	完成年月日	令和 5年 3月24日
概 要	1) 盛土工 V=4,730m ³ 2) コンクリートブロック工 A=1,554m ² 3) 排水函渠工 N=1基 4) 旧橋撤去工 N=1式 5) 舗装補修工 N=1式 6) 取付道路工 N=1式		
特 徴	1) 築堤護岸工・排水施設及び新橋開通のための取付道路工 2) 搬入路を含め、家屋密集地での施工のため騒音・振動対策を実施 3) 工種が多く、関連工事(ガス・水道)もあるため工程管理が複雑		
写 真			
			
着手前		完成	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、施工内容が築堤護岸・排水樋管・橋梁・取付道路など多様であったが、工程調整・施工管理を的確な時期で実施し、品質の確保に努めていた。特に新橋開通に伴う取付道路の施工においては、関連工事(ガス、水道)との調整により予定通り開通させた。
- ・本工事は施工箇所が家屋密集地となっていることに加え、搬入路も狭く、家屋が近接していたため、舗装補修や騒音振動計での計測など、工事の影響を最小限とする配慮で、施工中の苦情が無く工事を完成させた。
- ・隔月で広報誌「才八新聞」を周辺町内会に配布し、施工予定等の住民への周知を図った。

◆施工業者からのPR

- ・新橋開通にあたっては、地元調整やガス・水道工事との連絡調整、交通処理の工夫、プレキャスト製品の使用による工期の短縮などを実施し、予定時期に開通させた。
- ・家屋密集地での施工であるが、大型車の入場制限、土砂運搬での小型車(4tDT)の使用、騒音振動計の設置、搬入路の舗装補修など騒音振動対策を実施し、苦情無く工事を完成させた。
- ・河川工事(築堤護岸)、橋梁下部、下水道、道路修繕、道路改良、舗装(橋面含む)と施工工種が多様であったが無事故無災害で工事を完成させた。
- ・「才八新聞」の配布や現場掲示板に今後の予定及び工事状況写真を掲示して、地区住民とのコミュニケーションを図った。

1 1 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	床上浸水対策特別緊急工事 02-KY36-70		
路河川名/地区名	新波川	施工地名	秋田市雄和新波
商号又は名称	板橋組・豊興産特定建設工事共同企業体		
請 負 額	215,647,300 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	株式会社板橋組 代表取締役 板橋 広光		
許 可 番 号	05-001354	監理技術者等	監理技術者 畠山 尚
(構 成 員)	豊興産株式会社 代表取締役 石黒 慎		
(許 可 番 号)	05-002678	(監理技術者等)	主任技術者 大山 友和
監督実施公所	秋田地域振興局 (建設部)		
主任監督員	加藤 忍	監 督 員	吉田 正宏
工 期	令和 3年 9月27日～ 令和 4年12月23日	完成年月日	令和 4年12月23日
概 要	1) 施工延長 L=263.8m 2) 築堤盛土 V=7,240m ³ 3) 法覆護岸工 A=3,190m ² (平ブロック張A=1,056m ² 、ブロックマットA=2,134m ²)		
特 徴	1) 本川雄物川の合流部に近く、出水時の背水による影響が著しい工事 2) 工程確保のためのプレキャスト製品を活用した工事 3) 河道法線、法勾配が変化する区間での難易度が高い護岸工事		
写 真			
終点から起点方向 		起点から終点方向 	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・新波川床上浸水対策事業区間の下流部に位置していることから、雄物川本川の増水による影響を受け、作業の中止・浸水による現場復旧対応等、現場工程に影響を及ぼす頻度が高い現場であり、工程確保が課題であった。その対策として、プレキャスト製品を積極的に活用することで施工日数の短縮を図った。その他、築堤材料の改良についても、土質改良機を使用し改良材の品質向上と安定した供給体制を構築し、予定通り工事を完成させた。
- ・本事業の受注者で構成する「床上浸水対策特別緊急工事安全協議会」を設立し、他工区受注者との連携、地元との調整を担当する等、本事業への貢献度は非常に高かった。

◆施工業者からのPR

- ・降雨による新波川や雄物川の増水により安全確保及び工程確保が困難であった中、構造物の積極的なプレキャスト製品化を実現することにより工期短縮に努めた。また、河川掘削土を自走式土質改良機での土質改良提案を行い、築堤盛土への土砂有効利用にてコスト低減も行った。
- ・床上浸水対策特別緊急工事安全協議会会長として他受注業者との連携・調整を図るとともに雄和土地改良区や地区町内会長からの要望等にも真摯に寄り添い、騒音・振動等の苦情や事故も無く工事を完成させた。
- ・地域のお祭りである「大正寺おけさま祭り」へののぼり旗寄贈や協賛する等、積極的に地域関係者と友好的関係を構築し、事業のイメージアップにも尽力した。

12 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	道路メンテナンス工事（トンネル） 04-FI24-30		
路河川名/地区名	秋田北野田線(秋田中央道路)	施工地名	秋田市千秋明徳町
商号又は名称	株式会社沢木組	許可番号	05-005082
請負額	159,148,000 円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 沢木 則明		
監理技術者等	監理技術者 澤木 直人		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	齊藤 一人	監督員	三浦 学
工期	令和 4年10月28日～ 令和 5年 3月22日	完成年月日	令和 5年 3月22日
概要	1) 表面含浸工 A=2,965m ² 2) ひび割れ補修工 L=2,202m 3) 目地補修工 V=0.045m ³		
特徴	1) トンネル内の現道上への吊り足場設置 2) 車両を通行させたままの表面含浸工の施工		

写 真



◆監督実施公所の推薦理由

- ・実施工期が非常に短い厳しい工程の中、仮設と本工事の段取りを効率的に行い、夜間通行止め期間の短縮と施工の早期完成を実現した。
- ・ケイ酸塩系の含浸工法ではコンクリート表面が湿潤状態になっていることが必須であることから、施工前に入念な散水を行った。含浸材の塗布量が不均一だと今後のコンクリートの品質に影響がでることから、空缶による使用量管理の他に、現地で十分な塗布を確認できるテスターを用いた管理も併せて行った。
- ・含浸深さを確認するため非破壊試験に分類されるドリル法による中性化試験を施工前後に実施し、含浸工法による効果があったことを確認した。

◆施工業者からのPR

- ・本工事は、夜間通行止め期間に仮設足場を設置し補修作業を日中に行うものだったが、非常に短い工期設定のため、夜間通行止め期間に高所作業車及びトンネル点検車を使用し仮設足場と並行して側壁と一部頂版部の施工を行った。これにより工程の大幅な短縮ができた。
- ・本工事で使用した表面含浸剤のケイ酸系反応型の使用条件としてコンクリート表面が湿潤であることが必須であった為、前日から施工当日にかけて散水を行い規定値の水分量を確保した。
- ・表面含浸工の品質管理として、ドリル法を協議のうえ実施しコンクリートへの影響を少なくするとともに容易に確認することができた。また、全工程において弊社職員のコンクリート診断士立会いのもと施工し、高い水準でコンクリート補修作業及び管理を行うことができた。

13 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	土砂災害対策道路補助工事（土砂災害対策） 03-FI64-70		
路河川名/地区名	河辺阿仁線	施工地名	秋田市河辺財ノ神
商号又は名称	宮原組・沢木組特定建設工事共同企業体		
請 負 額	67,020,800 円	工 種・格 付	法面 A 級
代 表 者	株式会社宮原組 代表取締役 宮原 竜也		
許 可 番 号	05-010808	監理技術者等	監理技術者 月澤 太一
(構 成 員)	株式会社沢木組 代表取締役 沢木 則明		
(許 可 番 号)	05-005082	(監理技術者等)	主任技術者 高桑 一良
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	齊藤 一人	監 督 員	宮澤 優斗
工 期	令和 4年 4月 1日～ 令和 4年11月30日	完成年月日	令和 4年10月14日
概 要	1) 施工延長 L=174.1m 2) 繊維補強モルタル吹付工 A=2,350m ² 3) 側溝工 L=174m		
特 徴	1) 6月中旬まで作業制約を伴う工事 2) 同時期施工となる隣接工区との調整を要する施工区間 3) ICT活用した繊維補強モルタル吹付の施工		
写 真			
完成(起点側)	完成(全体)	完成(終点側)	
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・当該工事は、秋田市と北秋田市を結ぶ一般県道河辺阿仁線の土砂災害対策工事である。
- ・工事箇所は、国有林に関する森林管理署との協議、猛禽類に対する騒音対策、隣接工区との調整、道路幅員が狭く交通規制の制約など、難易度の高い工事である。
- ・測量にICTを実施したことにより、正確な面積、出来形の測定、測量作業の負担を大幅に軽減できた。また、法長や面積の検測時に作業員が法肩まで上がらなくても測定出来るため、安全性が確保された。

◆施工業者からのPR

- ・当該工事は猛禽類生息地のため、繁殖期間中(6月中旬まで)は騒音を伴う作業が制限されたが、協議の上、標準施工フローを一部見直し、騒音計で計測を行いながら施工可能な作業を先に行うことにより工期の短縮を図った。
- ・工事区間は狭隘な道路に接していたので、隣接する工事と綿密に連絡を取り合い、一般車両のスムーズな運行に努めたほか、施工法面より更に上部からの落石に備え、施工区間をカバーできる防護ネットを設置し、通行車両や作業員の保護に万全を期した。
- ・測量業務にICT技術を活用したことにより、計測時間を大幅に削減したほか、法面上への作業員の配置が不要になったため、労務的な負担を軽減できた。

14 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	床上浸水対策特別緊急工事 02-KY36-80		
路河川名/地区名	新波川(白山橋)	施工地名	秋田市雄和新波
商号又は名称	アキモク鉄工株式会社	許可番号	05-006948
請 負 額	242,964,700 円	工種・格付	鋼構造物 A級
代 表 者	代表取締役 花下 智之		
監理技術者等	現場代理人 三熊 浩英		
監督実施公所	秋田地域振興局 (建設部)		
主任監督員	加藤 忍	監 督 員	吉田 正宏
工 期	令和 3年10月 8日～ 令和 5年 3月29日	完成年月日	令和 5年 3月24日
概 要	1) 桁長 L=52.122m、支間長 L=51.120mの鋼単純箱桁の製作・塗装・架設 2) 大型ゴム支承設置 N=4基		
特 徴	1) 現場条件に合わせた架設方法の調整 2) 品質向上のための材料選定 3) 仮設工の工夫による安全性の向上		
写 真			
			
架設完了	クレーンヤード造成	防錆処理高力ボルトの使用	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本事業は、平成29年7月豪雨により一級河川新波川が甚大な被害を受けたことを契機に、平成30年度から令和4年度までの事業期間で採択された緊急対策事業である。
- ・当該工区の関連工事との工程調整により、当初計画のクレーン架設が困難となり、架設計画の再検討を行う必要が生じたが、現地再調査及び架設計画の再検討を積極的に実施したことで、工程に影響を生じることなく完成した。
- ・当該工区周辺では河川工事も複数着手しており、工事用道路が近接することによる桁地組等の施工ヤードの確保も課題であったが、事業関係者で定期的に開催した「新波川工事安全協議会」において、各工事工程の情報共有を図り、関連工事に影響を与えることなく完成した。

◆施工業者からのPR

- ・他工事との工程調整の結果、A1側からのクレーン架設が困難となったため架設計画の見直しを行った。A2側にクレーンヤードを造成し、片側からのベント設置・桁架設を行い無事に工事を完成することができた。
- ・防錆処理高力ボルトを使用することにより、現場継手部の締付後から現場塗装開始までの間の発錆を防ぎ、塗装品質の向上に努めた。
- ・主桁の地組立時に吊足場を設置することにより、桁架設後作業の墜落・落下のリスクを低減し安全性の向上に努めた。

15 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	鳥水台地区 災害関連緊急治山工事 RE1124A911		
路河川名/地区名	鳥水台地区	施工地名	由利本荘市南ノ股
商号又は名称	山勇建設工業株式会社	許可番号	05-001166
請 負 額	124,270,300 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 猪股 勇樹		
監理技術者等	現場代理人 原田 秀明		
監督実施公所	由利地域振興局（農林部）		
主任監督員	村川 晋	監 督 員	関 明仁
工 期	令和 3年 7月 9日～ 令和 4年 8月31日	完成年月日	令和 4年 8月23日
概 要	1) 治山ダム工(コンクリート谷止工) N=3基 V=1,888.8m3 2) 仮設工 N=1式		
特 徴	1) 急峻で危険性がある箇所における安全対策の徹底 2) 施行地周辺への環境配慮と地域貢献		

写 真



下流側から



上流側から

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事箇所は、令和2年7月の大雨により土石流が発生し、下方の市道まで流出したもので、被災した上流部の溪流には不安定な土石や土砂及び流木が残っており、次期降雨等により流出して再度被害を与える可能性が高く緊急に復旧する必要があるため、谷止工3基を施工した。
- ・本工事の箇所は急峻で足場が悪く、また施工中に土石流が発生する恐れがあったことから、作業・避難スペースの確保、避難訓練等を実施することで安全の確保を行っている。
- ・下流域には民家、河川などがあることから、泥水、土砂の流出を防ぐため、沈殿槽の設置や裸地部分の緑化を図るなど、周辺環境に配慮している。
- ・施工中、降雨等で工事箇所周辺の被災している道路の修繕等を実施し地域貢献している。

◆施工業者からのPR

- ・大雨時には、施工中土石流が発生することが懸念されたことから、緊急時の避難スペースの設置、避難訓練の実施、できるだけ避難時間を確保する工夫等、安全管理を徹底した。
- ・施工中、大雨により現場周辺で崩落災害が各所で発生したことから、各関係機関と連絡を密にし現場を休工し早急に災害対応を行った。
- ・ダム部のコンクリート打設時、作業ヤード設置をして圧送管配管による打設をポンプ車から直接打設できるよう工夫し、圧送管内の閉塞防止、打設時間の短縮等、コンクリートの品質確保に努めた。

16 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金工事（災害防除） 03-F165-K1		
路河川名/地区名	国道105号	施工地名	由利本荘市米坂
商号又は名称	菊地建設株式会社	許可番号	05-001240
請 負 額	161,590,000 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 橋本 聡		
監理技術者等	現場代理人 佐々木 重樹		
監督実施公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐々木 俊也	監 督 員	川井 翔太
工 期	令和4年3月11日～ 令和4年12月16日	完成年月日	令和4年12月16日
概 要	1) 施工延長 L=414.8m 2) 道路土工 N=1式 3) 擁壁工 L=288m 4) アスファルト舗装工(車道) A=3,250m ² 5) アスファルト舗装工(歩道) A=715m ² 6) 防護柵工 L=933m 7) 取付道路工 N=1式		
特 徴	1) 交通量の多い現道の最大81cmのかさ上げ工事 2) 現道交通に配慮した施工計画の立案と実践		

写 真



◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、平成29年7月の豪雨により道路が冠水したことから、冠水対策のため道路のかさ上げを実施した工事である。終点側に大内JCTがあり交通量がとても多く、工事中の渋滞が懸念されたが、現場条件や作業内容を考慮した施工計画を立て、適切な交通管理を行ったことで渋滞の発生や苦情等がなかった。
- ・最大81cmのかさ上げや多くの構造物の施工があり、規制車線の切替えを何度も行う必要がある工事だったが、注意喚起の看板設置や交通誘導警備員の配置等を行い安全管理を徹底した。
- ・住民の出入りする取付道路やバス停、会社の出入口がある箇所での施工であったが、関係機関へ事前に工事内容や通行規制について説明を行い、トラブルなく円滑に工事を完成させた。

◆施工業者からのPR

- ・本工事は片側車線ずつ交通規制をかけて最大81cm現道を嵩上げる工事で、当初は工区を4分割とし片側交互通行で施工する計画であったが、当該区間は交通が多く規制延長が長くなると渋滞が発生する懸念があったため、切替車線の摺り付け、交通規制方法等を検討する必要があった。そのため、発注者と入念に協議を実施し、円滑な交通を確保するための施工順序・施工方法等を検討し、施工区間を6分割としその都度車線切替を行う施工方法を立案して施工を行った結果、渋滞等が発生させず工事を完成させることができた。
- ・工区終点から230mの位置には日沿道の大内JCTがあり、とても交通量の多い国道であったため、施工中の交通規制や保安施設関係等、安全管理に努めて施工を行った。

17 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	道路メンテナンス工事（橋梁補修） 03-F155-70		
路河川名/地区名	仁賀保矢島館合線	施工地名	由利本荘市矢島町元町
商号又は名称	山科建設株式会社	許可番号	05-000622
請 負 額	84,453,600 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 山科 優		
監理技術者等	現場代理人 平塚 光章		
監督実施公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	伊藤 茂樹	監 督 員	芳賀 望美
工 期	令和 3年 9月24日～ 令和 5年 3月17日	完成年月日	令和 5年 3月17日
概 要	1) 橋長 L=69.6m 幅員 W=8.7m 2) ひび割れ補修工 N=1式 3) 断面修復工 N=1式 4) コンクリートブロック工(大型ブロック積) A=294m ²		
特 徴	1) 河川協議における施工時期に制約 2) 子吉川水系流雪溝利用組合との協議に伴う制約 3) 国土交通省矢島観測所の水位観測に伴う制約		
写 真			
			
着工前		完 成	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 本工事は、下部工に遊離石灰を伴うひび割れ等の損傷が多数生じており、A1橋台部は河川浸食により既設護岸と支持地盤が洗掘され対策が必要と判定された橋梁の補修工事である。
- ・ A1橋台上部の排水側溝は流雪溝としても利用され、冬場は滝のような出水があったため護岸の施工が困難な状況であったが、事前に流雪溝組合との協議を実施し、排雪ルートの変更や近隣の利用者への排雪対応、変更ルートが詰まった際の対応等十分に調整を図り施工を行った。
- ・ 本橋梁には水防団待機水位の観測を行う水位計が設置されており、仮締め切り実施の際には副水位計への観測切替や移設等の調整を要し、河川水位や河川断面に関しても制約の多い中、関係機関との協議を十分に実施し、円滑に工事を完成させた。

◆施工業者からのPR

- ・ 河川協議における施工時期に制約があり、非出水期での作業終了が必須であったため、施工期間の短縮を念頭に工程管理・施工方法を常に意識しながら施工を行った。
- ・ 作業箇所が河川内であることから、施工中における万が一の油流出に備え、緊急用油液処理キットを現場に常備し、緊急時の環境保全対策とした。
- ・ 護岸工施工箇所に増水時の避難経路確保の避難梯子を設置し安全対策とした。
- ・ 3次元データを作成し、護岸工の上下流部の摺り付け部の形状等を把握することで、事前に監督員との協議ができ、変更箇所を割り出すことができた。

18 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	佐曾田地区 緊急予防治山工事 RF1102A021		
路河川名/地区名	佐曾田地区	施工地名	仙北市西木町西明寺
商号又は名称	株式会社西宮組	許可番号	05-081672
請 負 額	51,507,500 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 西宮 優太		
監理技術者等	現場代理人 赤倉 長		
監督実施公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	小林 健太	監 督 員	武石 直久
工 期	令和 4年 9月 5日～ 令和 5年 3月27日	完成年月日	令和 5年 3月27日
概 要	1) 治山ダム工（コンクリート谷止工） N=2基 V=526.6m ³ 2) 流路工（プレキャスト）N=2ヶ所 L=74.4m 3) 仮設工 N=1式		
特 徴	1) 急峻・狭隘な地形での安全対策の徹底 2) 冬期間のコンクリート打設に係る品質管理の工夫		

写 真



◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、直下に人家10戸の集落及び国道105号線等重要な保全対象を有する地区で、急峻・狭隘な地形において近年の豪雨により溪岸侵食等が発生し、泥水が人家まで達するなど緊急度の高い地区である。
- ・冬期間の工事となり施工条件が厳しい中、コンクリート打設の創意工夫や温度管理を徹底して行ったことによりコンクリートの品質向上が図られていることや徹底した工程管理と安全管理のもと、事故なく無事に工期内完成させた。
- ・人家近くでの工事であったが、工事の内容や進捗状況等、地域住民への説明を十分に行いトラブル無く工事を進めた。

◆施工業者からのPR

- ・工事用道路について、現場は国道105号から185mの場所にあり、谷止工の施工箇所は民家から40mの位置にあったため、仮設坂路長100m高低差30mの範囲で構築する計画とし、ドローンによる空撮を行い、その写真データを基に法線を決定し、大型車両も走行できる工事用道路を作り資材搬入に活用したことで、工期内の完成を図った。
- ・コンクリートの打設工程について、谷止工2基を施工するにあたり、全期間に渡り平行作業として行った。1リフトの型枠組立から打設までを1週間で言い、翌週を養生期間とした。また、その週をもう1箇所の作業期間として打設まで言い、谷止工の作業サイクルとして工程管理をした。それにより進捗率の把握が容易となり、無事に打設を完了させることができた。

19 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	宮田福島地区 農地集積加速化基盤整備工事 09403-K06		
路河川名/地区名	宮田福島地区	施工地名	大仙市神宮寺
商号又は名称	株式会社小笠原組	許可番号	05-060314
請負額	62,892,500円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 小笠原 武男		
監理技術者等	主任技術者 石山 透		
監督実施公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	佐藤 宗雄	監督員	袴田 直幹
工期	令和4年3月28日～ 令和4年12月9日	完成年月日	令和4年8月31日
概要	1) 整地工 A=6.7ha 2) 用水路工 L=331m 3) 排水路工 L=602m 4) 道路工 L=576m		
特徴	1) 工期短縮を可能にした工区の課題への対応 2) ドローンを活用した地元補助監督員等との現地調査 3) 施工品質の向上や地域性・独自性を取り入れた取組		

写真

完成（全景）



地域のイベントやラジオと連携した取組



◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 地区外用水路の取水時期の関係から同水路内で施工する道路横断暗渠工は制約を受けるため非灌漑期での施工を計画していたが、請負業者の迅速かつ適切な施工計画の策定や事前準備、工程管理等により取水期前に完成を図ることが可能となり、下流区域への用水手当（用水路等）も同時施工するなど、地区の営農にも支障なく工事を完成させた。
- ・ ほ場整備工事においては地元補助監督員との施工前の境界確認や課題事項協議などの現地立会を要するが、本工事では状況等を分かり易く説明するため、ドローンを活用した取組を行った。
- ・ 地域と連携した独自性のある取組（ラジオ局・花火イベントとの連携）を積極的に行った。

◆施工業者からのPR

- ・ 本工事を施工するにあたり、工区上流に位置する地区外の松倉堰幹線用水路からの取水時期と重なる支道取付暗渠工の施工が課題となっていた。また、同施工箇所下流部（前年度施工区域）への用水手当や本手当に伴う排水路の流末処理も早期に対処する必要があったが、緻密な施工計画の策定、又、入念な検討と事前準備により早期に対処することができ、工期の短縮を図ることが可能となった。
- ・ 地元補助監督員等との施工状況等の確認にドローン技術を活用し多角的な視点から状況を説明、把握することができ評価を得た。
- ・ 地域と連携した取組（ラジオ局・花火イベント）も行い工事のイメージアップを図った。

20 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	大戸川地区 かんがい排水工事 00503-K06		
路河川名/地区名	大戸川地区	施工地名	横手市百万刈
商号又は名称	高吉建設株式会社	許可番号	05-000041
請負額	166,158,300 円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 佐藤 利昭		
監理技術者等	現場代理人 杉井 輝希		
監督実施公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	佐藤 雅人	監督員	伊藤 清貴
工期	令和 3年10月 1日～ 令和 4年 5月30日	完成年月日	令和 4年 5月30日
概要	1) 管水路工（FRPM管φ1350） L=215m 2) 分土工 N=1基		
特徴	1) 超軟弱地盤地域における工事 2) 秋田自動車道の近接工事のため、徹底した安全管理 3) 厳しい環境下における効率的かつ正確な施工及び管理		
写 真			
  			
【管水路工】		【分土工】	

◆監督実施公所の推薦理由


- ・ N値2以下のピート層（泥炭）が厚さ10mを超える軟弱地盤における構造物工事である。
- ・ 秋田自動車道の管理用道路脇に基礎杭（PHC杭φ450、L=14.0m）を打設後、床堀作業するにあたり、自動車道における路体盛土の変状の有無を毎日定点観測しながら施工した。
- ・ 管水路工の施工は1月～2月の厳寒期と重なり、かつ連日の大雪に見舞われたが、ICT施工現場端末アプリ「快測ナビ」を導入したことで、据付標高や偏心量等が瞬時に測定でき、丁張設置についても最少人数で可能となり、人的ミスの防止と作業効率向上を実現できた。
- ・ 完成した施設は、水路法線及びコンクリート打設部等の外観や仕上がりが高く、施工計画や環境対策など模範となる工夫もみられることから、推薦に値するものである。

◆施工業者からのPR

- ・ 工事の施工にあたり、新型コロナ等による管材製造ライン状況の変更等が発生したため、不規則な資材受入に対応できるよう、自社努力による資機材ヤードの拡張を行った。
- ・ 分土工の基礎杭打設に先立ち、施工場所に隣接した家屋等は無かったが、油圧ハンマの打撃音が近隣集落まで届くことが予想されたため、事前に施工日時（施工日数は連続した3日間）及び施工方法等を住民の方へ広報配布により周知した。
- ・ 河川から取水した農業用水を長期にわたり安定供給する施設であることから、分土工のコンクリート表面の劣化等による機能低下を防止するため、監督員と協議して無収縮防水モルタルを使用し、漏水防止効果の向上を図った。

2 1 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	総合流域防災工事 04-KB17-10		
路河川名/地区名	土買川	施工地名	大仙市土川
商号又は名称	株式会社宮原組	許可番号	05-010808
請 負 額	79,410,100 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 宮原 竜也		
監理技術者等	現場代理人 太田 正志		
監督実施公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	鎌田 幸雄	監 督 員	沓澤 和哉
工 期	令和 4年 9月12日～ 令和 5年 3月24日	完成年月日	令和 5年 3月24日
概 要	1) 施工延長 L=106.0m 3) 揚水機場 N=1.0基	2) 河川土工 N=1.0式 4) コンクリートブロック工 A=267.0㎡	
特 徴	1) 簡易型ICT活用デジタル工事（ICT土工（測量、設計、管理）受注者希望型） 2) 同時期施工となる揚水機の機械設備工事と工程等調整を要する工事		
写 真			
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は非洪水期の施工と工期に限られるなか、同時期工事となる揚水機の機械設備工事と協議を重ね、計画どおりに工事を完成している。
- ・工期的制約のため、揚水機場のコンクリート打設は冬期間の施工となったが、コンクリート養生計画書を作成し外気温による練混ぜ水の温度管理を実施し品質向上に努めている。また、コンクリート打継ぎ目処理として、表面凝結遅延材（NETIS登録）を採用し、脆弱部の除去を行うとともに、打設前はハンドマグネット及び集塵機による清掃を実施し対策も万全であった。
- ・このような施工条件の中で、地元中学生の職場体験を受入れ、ドローンの飛行体験を実施するなど建設業界への関心を高めたことも併せて評価される。

◆施工業者からのPR

- ・冬期間の厳しい施工条件の下、作業が輻輳することが予想されたほか、同時発注の機械設備工事と施工期間が重なったため、作業間の調整や工程管理・人員配置を綿密に行い、遅延なく工事を完成させることができた。
- ・簡易型ICT活用技術を採用したことで、土工にかかる人工数が削減された。また、コンクリート構造物等の施工管理へ時間を費すことが可能となり、工事全体の効率化を図ることができた。
- ・地域貢献として地元中学生の職場訪問を受入れ、ICT施工など先端技術を体験してもらうことで建設業界への関心を深め、将来の進路選択へ繋がるよう努めた。

2 2 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	広域河川改修工事 03-KA20-83		
路河川名/地区名	淀川	施工地名	大仙市協和下淀川
商号又は名称	進藤建設株式会社	許可番号	05-002019
請負額	144,103,300円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 進藤 章		
監理技術者等	現場代理人 木村 明博		
監督実施公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	鎌田 幸雄	監督員	森 輝稀
工期	令和4年3月31日～ 令和5年3月24日	完成年月日	令和4年12月21日
概要	1) 施工延長 L=892.6m 2) 掘削 V=9,200m ³ 3) 築堤盛土 V=11,000m ³		
特徴	1) ICT活用モデル工事（ICT土工（施工）発注者指定型） 2) 農繁期を考慮した工程等調整を要する工事		

写 真

完成写真 起点側～



完成写真 終点側～



◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 築堤区間が大きく曲がる法線であり難易度が高いことや、工事用道路として農道を利用するため農繁期の工程調整が必要なことから、発注時点で工程の遅れが懸念される現場であったが、ICTを活用し4週8休を確保しながら、3ヶ月工期を前倒して工事を完成している。
- ・ 地元高校生を対象とした現場見学会を開催し、更には夏期のインターシップの受入れにも協力してもらいなど、建設業の担い手確保に尽力した。
- ・ 降雪前の完成を目指し、工程や3次元データの見直し、地元住民、土地改良区との調整を積極的に行うなど現場代理人の熱意ある姿勢も併せて評価される。

◆施工業者からのPR

- ・ 堤防の嵩上げ盛土工事にて、堤防法線が変わる箇所は、既存堤防の機能を損なわないように天端高を確保しながら掘削・盛土を行うとともに、盛土期間の短縮を目指し、ICT施工重機をフル稼働できるよう作業補助の重機を増台し、切土・場内運土のスピードアップを図ったことで、4週8休を達成しつつ3ヶ月の工期短縮とすることができた。
- ・ 高校生を対象としたICT施工の現場体験会を開催した。ICT建機の説明や試乗、杭ナビ（自動追尾機能付き測量機）を用いたゲーム感覚の測量の実施を行い、最新の建設現場を体験してもらった。建設業界への新卒就業者確保のため、機会があればまた開催したい。

23 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	道路メンテナンス工事（橋梁補修） 04-F156-22		
路河川名/地区名	国道341号	施工地名	仙北市田沢湖生保内
商号又は名称	株式会社山田塗料店	許可番号	05-000120
請負額	64,776,800円	工種・格付	一般塗装 A級
代表者	代表取締役 石川 浩一		
監理技術者等	現場代理人 山田 健実		
監督実施公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐藤 勝之	監督員	小林 航
工期	令和4年8月15日～ 令和5年3月24日	完成年月日	令和5年3月24日
概要	1) 現場塗装工 A=570m ²		
特徴	1) I型鋼桁橋の塗装塗替 2) 鉛を含有する塗膜の除去 3) 冬季間の施工		
写 真			
			
完成(A2-P1)上流		完成(A2-P1)下流	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本事業は昭和48年に竣工した先達新橋の補修事業であり、本工事は主・横桁を主体とした塗装の塗り替えを行った工事である。
- ・当橋梁の残存塗膜の成分確認の結果、鉛等の有害物質を含んでいたことから、既存の塗膜除去にあたっては、作業員の安全衛生のための防護具の着用の徹底するとともに現場外（河川内）への有害物質の飛散防止対策でクリーンルームを設置するなど徹底した衛生管理を行った。
- ・新技術工法を積極的に採用し、塗着効率が高く飛散が少ない「高塗着スプレー塗装工法」や吊り足場設置時の一時的な塗り残し部の塗装対策として「貼る重防食塗料」を採用し、省人化・工期短縮をおこなっている。

◆施工業者からのPR

- ・鉛が含有している旧塗膜の剥離作業において、人体への悪影響が少ない水性塗膜剥離剤（NETIS登録）を使用するとともに、クリーンルームを設置し、作業時における保護具の着用状態などの指導を徹底し、作業員の安全性を考え施工を行い作業を完了することができた。
- ・冬季間の施工でしたが、ジェットヒーターの設置や、高塗着スプレー塗装工法等を採用することにより、良い品質・出来形を確保することができた。
- ・吊りチェーンの盛替え作業の部分補修において、秋田県でまだ施工事例の少ない「貼る重防食塗料メタモルシート」（NETIS登録番号SK-210003-A）を採用し、作業工程の短縮と均一で十分な膜厚を確保することができた。

24 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	地方道路交付金工事（改築） 03-HF42-K1		
路河川名/地区名	国道107号	施工地名	横手市雄物川町大沢
商号又は名称	株式会社吉田建設	許可番号	05-002514
請負額	136,131,600円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 吉田 昌平		
監理技術者等	現場代理人 和泉 謙太郎		
監督実施公所	平鹿地域振興局（建設部）		
主任監督員	高野 健一	監督員	乳根 達矢
工期	令和4年2月18日～ 令和4年12月20日	完成年月日	令和4年12月20日
概要	1) 施工延長 L=440m、施工幅員 W=6.5(12.0)m 2) アスファルト舗装工 A=4,768m ² 3) 道路土工 N=1式		
特徴	1) 交通量の多い現道2路線へのバイパス取付工事 2) 現道交通に配慮した施工計画の立案と実践 3) 新技術の導入により若手職員も活躍できる現場環境を構築		
写 真			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;">起点側より</div> 		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;">終点側より</div> 	

◆監督実施公所の推薦理由


- ・ 当事業は、国道107号大沢地区において、バイパス整備を主体に平成21年より道路の改築を進めてきたものであり、今回は、バイパス起点部において、現道2路線（国道107号、大曲大森羽後線）を接続する工事を行った。
- ・ 接続路線は幹線であり交通量が多く、加えてバイパス本体との高さが大きく異なるため、既存交通への影響を考慮した結果、複雑な施工・仮設計画を要したが着実に施工し、完成できた。
- ・ 関連工事や関連機関と綿密に工程の調整を図り、また、地元住民への広報や安全対策の工夫・改善を徹底して行ったことで、利用者からの苦情や事故がなく安全に供用を開始できた。
- ・ 地元イベントへの協力など地域貢献活動に積極的で、他の模範となる活動もみられた。

◆施工業者からのPR

- ・ 交通量の多い国道107号及び大曲大森羽後線の現道工事であることから、交通規制に起因する事故の発生が懸念されたが、交通量に見合った迂回路への変更や、規制箇所に監視カメラを設置し規制状況の把握に努めるなど、未然に改善・処置を施すことで事故防止を図った。
- ・ 1～3次施工までを必要とする複雑な施工フローや施工段階毎に変化する複雑な交通規制形態、卵形曲線4つが複合する平面線形など難易度の高い現場であったが、自動追尾型トータルステーション等の最新ICT技術を活用し、現場の「みえる化」を図ったことにより、若手職員も活躍できる環境を構築し、かつ効率的な施工を行うことができた。

25 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	柵内沢山地区 緊急機能強化・老朽化対策工事 RH1113A311		
路河川名/地区名	柵内沢山地区	施工地名	湯沢市柵内沢山
商号又は名称	株式会社高嶋組	許可番号	05-002677
請負額	55,939,400 円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 高嶋 伸夫		
監理技術者等	現場代理人 高橋 義雄		
監督実施公所	雄勝地域振興局（農林部）		
主任監督員	藤本 一広	監督員	石川 仁
工期	令和 3年 9月17日～ 令和 4年 7月29日	完成年月日	令和 4年 7月29日
概要	1) 山腹工 A=0.04ha 2) 土留工 N=1基、法枠工 A=313.9m ²		
特徴	1) 急峻・不安定地層における高い法面施工技術と安全予防対策 2) 優れたコミュニケーション能力による地域住民への対応姿勢		
写 真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>全景</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>着手前</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>完成</p>  </div> </div>			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、既存施設の老朽化対策工事であり、S47に整備された現場打ちコンクリート土留工の撤去・再設置、土留工背面上部の法枠工の新設などが主工種であるが、施工においては、背面斜面の急峻かつ不安定な地層や、ランダムに入り組んだ風化岩への対処など、高い法面施工技術と安全予防対策が求められる工事である。
- ・崩落箇所においては、モルタル吹付工での創意工夫や遠隔操作による監視カメラによる対応など随所に安全対策がなされ、工程のフォローアップ等により余裕をもって工期内に完成させることが出来た。また、現場は斜面直下に民家や市道が近接するなど、地域住民との連絡調整が求められ、丁寧な説明とコミュニケーションで現場を完成させた実績は高く評価できる。

◆施工業者からのPR

- ・近隣住民には代理人の携帯番号をオープンにするなど、地域とのコミュニケーションが良好に図られるよう信頼関係を築きながら工事を進めた。
- ・崩落や落石があり、幾度となく施工手順の見直しを強いられたが、危険箇所をフォローしながら作業の安全性確保を最優先にすることにより、無事故で完成することが出来た。
- ・元請け・下請け合同パトロールや第三者意見を取り入れた安全会議を設置する等の措置により、徹底した安全施工に取り組んだ。

26 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	地方道路交付金工事（改築） 03-HF25-K1		
路河川名/地区名	国道398号	施工地名	湯沢市稲庭町内記川原
商号又は名称	株式会社皆瀬土木	許可番号	05-004615
請負額	104,799,200円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 高橋 光明		
監理技術者等	現場代理人 堀江 勇		
監督実施公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任監督員	築瀬 秀樹	監督員	菅 尚文
工期	令和4年5月9日～ 令和4年11月30日	完成年月日	令和4年11月21日
概要	1) 施工延長 L=234.45m 2) 幅員 W=6.5(9.5)m 3) 路体盛土(ICT) V=14,500m ³ 4) 路床盛土(ICT) V=2,600m ³ 5) 下層路盤 A=2,500m ² 6) 擁壁工 A=44m ²		
特徴	1) ICT技術の活用 2) 中高生を対象とした担い手育成 3) 新技術を活用した安全管理		
写真			
着手前		完成	
			マシンコントロールブルドーザによる盛土施工
			インターンシップ等による建設業の魅力発信

◆監督実施公所の推薦理由

- ICT技術の活用について、発注者指定型及び受注者希望型のほか、下層路盤工においても、丁張等の時間を省くため、自動追尾式のTSを用いたマシンコントロールのグレーダーを使用し、施工期間の短縮とTS出来形計測による確認でコスト縮減を図った。
- 建設業の担い手不足解消のため、中学生をインターンシップに受け入れたほか、高校生へICT建設機械の試乗や建設業の魅力を発信し、担い手育成に貢献している。
- 新技術の活用により、タイヤローラーやコンバインドローラーに接触事故防止装置及びバックホウに人検知衝突軽減システムを搭載し、安全管理の徹底に努めている。

◆施工業者からのPR

- 発注者指定型ICTで路体盛土・路床盛土、受注者希望型で法面整形・下層路盤の施工をICT技術を用いて施工管理を行った。ICT技術の活用として3次元設計データを基に、ブルドーザーや弊社にある3Dマシンガイダンスバックホーの使用とTSによる出来形計測を実施し、作業効率の向上と良質な品質管理ができた。また、建設現場におけるアナログ業界から最先端技術に移行したことで、人為的ミスや労働災害防止等に繋げることができた。
- 建設DXの促進、魅力ある企業と建設現場を目指し、地元中学生のインターンシップや高校生を対象とした建設業体験フェスタなどに積極的に参加し、未来の建設業を担う若手へ少しでも関心をもってもらえるよう高い意識を持ち、ICT技術の普及とイメージアップに努めた。

27 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	新複合化相談施設（仮称）建築工事		
路河川名/地区名	秋田市手形	施工地名	秋田市手形住吉町
商号又は名称	林・伊藤工業・珍田・栗野特定建設工事共同企業体		
請 負 額	1,077,802,000 円	工 種・格 付	建築一式 A級
代 表 者	株式会社林工務店 代表取締役 林 徳彦		
許 可 番 号	05-006573	監理技術者等	監理技術者 石井 雄
(構 成 員)	伊藤工業株式会社 代表取締役社長 伊藤 満		
(許 可 番 号)	05-001004	(監理技術者等)	主任技術者 山方 芽衣
(構 成 員)	珍田工業株式会社 代表取締役社長 珍田 伸一		
(許 可 番 号)	05-003211	(監理技術者等)	主任技術者 小島 忍
(構 成 員)	株式会社栗野工務店 代表取締役 高橋 章子		
(許 可 番 号)	05-004716	(監理技術者等)	主任技術者 舩屋 幸雄
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	杉山 豪	監 督 員	佐藤 純一
工 期	令和 3年10月 7日～ 令和 4年11月25日	完成年月日	令和 4年11月25日
概 要	1)新複合化相談施設 RC造 地上2階建て 延べ面積 A=3,097.39㎡ 2)車寄せ S造 平屋建て 延べ面積 A=186.62㎡		
特 徴	1)新複合化相談施設新築工事 2)交通量の多い教育施設、商業施設に近接する工事 3)第1種中高層住居専用地域内の工事エリア狭隘工事		
写 真			
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は児童相談所、女性相談所、福祉相談センター、精神保健福祉センターの4施設を移転、統合した新複合化相談施設新築工事である。
- ・敷地周囲には、秋田大学や秋田東中学校、公園及びスーパーマーケット等があり、時間を問わず交通量が多い地域であるが、近隣住民や交通及び環境へ細心の配慮を行っている。
- ・十分な工事エリアが取れない敷地で、一部エリアの施工時期をずらす工夫により、デッドスペースを有効活用して、工期内施工を確実なものとしている。

◆施工業者からのPR

- ・『近隣の皆様に迷惑を掛けない』を現場のモットーとし工事計画を進めた。工事現場周辺には、公園・保育園・学校・大学等の教育施設が有り、時間を問わず歩行者が多い事から第三者災害を起こさないよう最大限の注意をした。
- ・昨今、建設業の人手不足が懸念されており、一人でも多くの方々に建設業に興味を持ってもらいたいとの思いからインターンシップ・現場見学会を積極的に受け入れる方針とし、いつ誰が来ても恥ずかしくない現場を目指し工事を行った。
- ・隣地の建物が近接し、揚重機設置・資材搬入・残土ストック等のスペース確保の厳しい敷地条件の下、工区分けを行い作業時期をずらすことにより、限られた敷地を有効活用し、余裕のない工期であったが、安全かつ円滑な工事を実施した。

28 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	夏瀬橋橋梁改修工事 KR04-10		
路河川名/地区名	田沢湖抱返り県立自然公園	施工地名	仙北市田沢湖卒田
商号又は名称	株式会社門脇組	許可番号	05-001745
請 負 額	20,376,400 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 B級
代 表 者	代表取締役 門脇 隆広		
監理技術者等	主任技術者 藤村 治彦		
監督実施公所	生活環境部自然保護課		
主任監督員	小塚 弘直	監 督 員	松尾 卓哉
工 期	令和 4年 5月17日～ 令和 4年10月 7日	完成年月日	令和 4年10月 7日
概 要	1) 夏瀬橋 (橋長) L=90.52m 2) 橋梁床板補修工 N=1式 3) 既設床板撤去工 N=1式		
特 徴	1) 田沢湖抱返り県立自然公園内での施工 2) 使用資材の品質向上に関する工夫 3) 他の模範となる地域とのコミュニケーション		

写 真



着工前



床板設置状況



完成

◆監督実施公所の推薦理由


- ・ 本工事は、架設後35年以上が経過し床板の腐食が著しい夏瀬橋の、床板全面張替工事である。
- ・ 現場が観光スポットであることに加え、近隣に温泉宿があり多くの人々が訪れる場所であるが、工事の事前周知、安全管理を徹底し、公園利用者とのトラブルもなく無事故で完成した。
- ・ 床板と既存の桁（H鋼）の接合部材（ボルト）にさび止め塗料及びブラウン系塗料を塗布し、景観への配慮と品質向上の創意工夫を行った。
- ・ 受注者は地域の保育園・幼稚園の夏祭り行事のために「やぐら」を製作・設置するなど日常的に地域とコミュニケーションを図っている。本工事のみならず、こうした他の模範となるような活動にも積極的に取り組んでおり、優良工事に相応しいものとして高く評価できる。

◆施工業者からのPR

- ・ 創意工夫として、本工事で使用したボルト（生地）906本すべてにさび止め塗料及びブラウン系塗料を塗布し、景観配慮と品質向上に努めた。また、地域貢献として、工事箇所近隣の案内板2基の再塗装を行った。
- ・ 近隣に夏瀬温泉があり宿泊客や温泉利用客が工事箇所周辺を散策するなど、一般人が工事箇所周辺に近づくことが多い現場であった。また、国道から現場までの市道の幅員が狭く、工事車両と一般車両のすれ違いが困難であり資機材運搬を効率的かつ安全に行うことが課題であったが、温泉宿側と大型車両の運搬日や通行時間帯の調整を綿密に行い、情報共有を徹底し、温泉利用者等にスムーズに工事情報を提供することができ、無事故かつ円滑な工事進捗を図った。

29 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	市川堰3期地区 ため池等整備（用排水）工事 01402-K01		
路河川名/地区名	市川堰3期地区	施工地名	山本郡藤里町如来瀬
商号又は名称	大森・コンノ特定建設工事共同企業体		
請負額	347,509,800 円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	大森建設株式会社 代表取締役 大森 三四郎		
許可番号	05-081607	監理技術者等	監理技術者 池田 正広
(構成員)	株式会社コンノ土木 代表取締役 金野 憲行		
(許可番号)	00-009694	(監理技術者等)	主任技術者 七尾 知希
監督実施公所	山本地域振興局（農林部）		
主任監督員	鈴木 勇一	監督員	渡部 悦史
工期	令和 4年 7月 1日～ 令和 5年 3月 27日	完成年月日	令和 5年 3月27日
概要	1)トンネル掘削工、仮覆工 L=358m、坑口付工 N=1式 2)仮設電気設備工 L=358m、トンネル仮設備工 N=1式 3)仮設道路工 N=1式、水路工 L=39m、仮土留工 N=1式		
特徴	1)既設水路トンネルの改修工事 2)トンネル工事に伴う仮設備工事（坑内外電気、給排水、換気） 3)トンネル工事に伴う土工事		
写 真			
完 成（測点No.14）		ライブカメラ、自動ガス検知器設置（作業箇所付近）	
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、通年使用する隧道（水路トンネル）の改修工事で、かんがい期間を避けた9月～3月末までに完成が求められた工事である。施工業者は、雨水や雪解水等の漏排水対策を適切に実施し、工期内に完成させた。
- ・近隣に斎場や福祉施設があることから、施工機械に超低騒音建設機械を採用したほか、騒音・振動調査を実施するなど、地域住民の生活環境への対策や配慮を行ったことは評価できる。
- ・工事実施にあたり、坑内の作業監視のための坑内ライブカメラの設置や地山からの有毒物質対策として自動ガス検知器を設置するなど、安全対策に努めた。

◆施工業者からのPR

- ・本工事は既設水路トンネルの断面改修であった。機械掘削と同時に支保工及び木製矢板を設置しながら改修し、用水を通水できるように側壁部にコンクリートを施工した。
- ・坑内作業は内空断面が小さく、作業状況の監視は安全性の確保が困難で危険が伴うため、常時作業箇所を監視できるように掘削進行状況に応じてライブカメラを坑内上部設置し安全管理を行った。
- ・トンネル工事に発生するガスなどの有害物質災害防止のため、自動ガス検知器を設置し坑内の作業場所で警報機より作業員に知らせた。退避基準を設置し確実に実施するため周知すると共に安全訓練等で避難訓練を行い災害防止を確実にした。

30 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	能代科学技術高等学校 第二体育館機械設備工事		
路河川名/地区名	秋田県立能代科学技術高等学校	施工地名	能代市盤若町
商号又は名称	株式会社柴田ポイラ工業	許可番号	05-010347
請 負 額	22,550,000 円	工 種 ・ 格 付	給排水暖冷房衛生設備 A級
代 表 者	代表取締役 柴田 重雄		
監理技術者等	現場代理人 笹村 健太		
監督実施公所	北秋田地域振興局 (建設部)		
主任監督員	鈴木 健亮	監 督 員	高橋 公偉
工 期	令和 3年11月30日～ 令和 4年11月25日	完成年月日	令和 4年11月25日
概 要	1) 第二体育館の新築機械設備工事 2) 渡り廊下の新築機械設備工事 (給排水衛生設備、換気設備、暖房設備及び消火設備 ほか)		
特 徴	1) アリーナ側が鉄骨造、部室側が木造の体育館への機械設備工事 2) 大きな化粧梁と柱が特徴の建築物 3) 利用者が複数となる為、多目的トイレの設置が必要		
写 真			
			
外 観		多目的トイレ	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 本工事は、週休2日制モデル工事の対象工事であり、工程が建築工事の進捗により左右されるなか、綿密な工程管理を行い無事4週8休を達成した。
- ・ 3DCADを活用し、図面を立体的に捉えることにより、作業員とのイメージ共有を行いながら施工を行っている。
- ・ 現場敷地内で行われている他の工事と工事者車両動線が重なる中、材料の搬入時間を混雑時からずらすことにより、安全対策を行っている。

◆施工業者からのPR

- ・ 配管工事に際し、基本に忠実な施工を心掛け、規格の遵守と段階確認を徹底して行い、主任技術者と配管技能士でのダブルチェック体制を実施することにより、確実な施工を行った。
- ・ 週休2日制のモデル工事であり、現場の閉所日の管理を行う上で、勤務状況確認表だけでは補えなかった月々の閉所率を明確化するグラフを作成・提出することで、管理を容易にすることができた。
- ・ BIMを導入、積極的に活用することにより、建物の完成イメージを現場作業員と共有することで、作業の効率化を図ることができた。また、施工図作成段階で隣接工事との干渉分部を確認することができ、施工前に解決することで手戻り工事の少ない施工をすることができた。

3 1 第 4 4 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	能代科学技術高等学校 第二体育館電気設備工事		
路河川名/地区名	秋田県立能代科学技術高等学校	施工地名	能代市盤若町
商号又は名称	有限会社石井電気工事	許可番号	05-008516
請 負 額	30,250,000 円	工種・格付	電気 A級
代 表 者	代表取締役 石井 秀雄		
監理技術者等	現場代理人 清水 孝英		
監督実施公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	鈴木 健亮	監 督 員	高橋 公偉
工 期	令和 3年11月30日～ 令和 4年11月25日	完成年月日	令和 4年11月25日
概 要	1) 第二体育館の新築電気設備工事 2) 渡り廊下の新築電気設備工事 (電灯設備、幹線設備、自動火災報知設備及び拡声設備 ほか)		
特 徴	1) 柔道、バドミントン、ウエイトリフティングなど室内競技を安全に行う為の照明と設備機器の電源整備工事 2) 非常時の連絡、避難・誘導設備の電源整備工事		
写 真			
			
ウエイトリフティング場		柔道場	
アリーナ			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、週休2日制モデル工事の対象工事であり、工程が建築工事の進捗により左右されるなか、綿密な工程管理を行い無事4週8休を達成した。
- ・使用目的に応じた照明の照度設定を行うことにより、利用環境の向上を行っている。
- ・分電盤およびコンセントに、電灯分電盤名称と回線名を表示を行う等、施設管理目線での施工を行っている。

◆施工業者からのPR

- ・本工事は週休2日制4週8休のモデル工事であり、建築工事全体の進捗を鑑み、他施工業者との連携を大切にしつつ作業の効率化を重視した。また、コロナ禍であったため作業員の体調管理にも十分に留意した。結果、工事完了日までの実施閉所率を35%以上とすることが出来た。
- ・アリーナは緊急時の避難所利用もあることを踏まえ、状況毎に異なる利用環境を想定の上670lxを全灯とし、そこから段階的に明るさを制限し、最終的には1%全灯までの照度設定を非常時でも簡易的に行えるようにした。
- ・社内強化中のSDGs活動の一端として材料資源の有効活用やサプライチェーンマネジメント管理にも注意を払い、環境負荷をできる限り減らすように心掛けた。

秋田県優良工事表彰 選考委員会名簿

選考委員長	副	知	事	神部	秀行
選考委員	総	務	部長	長嶋	直哉
〃	農	林	水産部長	齋藤	正和
〃	建	設	部長	川辺	透
〃	出	納	局長	小西	弘紀

秋田県優良工事表彰 幹事会名簿

幹事長	建設部建設産業振興統括監	小野	潔
(秋田県入札制度適正化推進委員会技術専門部会)			
幹事	部会長	及川	洋
〃	副部長	安保	和仁
〃	専門委員	徳重	英信
〃	専門委員	後藤	文彦
〃	専門委員	佐藤	悟
〃	専門委員	長谷川	兼一
〃	専門委員	浅野	耕一
〃	専門委員	石山	智
〃	専門委員	永吉	武志
(秋田県知事部局関係課室)			
〃	福祉政策課長	元野	隆史
〃	参事(兼)自然保護課長	齋藤	寿幸
〃	農地整備課長	足立	徹
〃	森林環境保全課長	真崎	博之
〃	技術管理課長	村上	龍巳
〃	道路課長	石川	康樹
〃	河川砂防課長	木次谷	英成
(秋田県教育庁関係課室)			
〃	総務課施設整備室長	安田	一彦

秋田県優良工事表彰要綱

(表彰の目的)

第1条 県が発注した工事のうち、優秀な工事を施工したものを表彰することにより、建設技術の向上を図ることを目的とする。

(表彰の対象)

第2条 対象は、前年度に完成した工事とし、秋田県工事成績評定に基づき評価されたものとする。

(表彰の名称)

第3条 名称は、「秋田県優良工事表彰」とする。

(表彰の基準)

第4条 次のすべてを満足すること。

- (1) 当該工事の出来形が優秀であること。
- (2) 当該工事全般の管理状況が良好であること。
- (3) 当該企業において労働災害がないこと。
- (4) 当該企業における各工事の施工成績が良好であること。
- (5) 建設業法を遵守し、他の模範とされる施工企業であること。

(推 薦)

第5条 各所属長は、表彰することが相当と認める工事があるときは、選考委員長へ推薦するものとする。

(選考委員会)

第6条 表彰すべき工事を選考するため選考委員会を置き、その構成は、別表第1のとおりとする。

- 2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告に基づいて協議し、表彰すべき工事を決定するものとする。
- 3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。
- 4 幹事会は、各所属長より推薦のあった工事について、当該工事の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。

(表 彰)

第7条 表彰の種類は、優良工事表彰、特別表彰及び地域振興局長表彰とする。

- 2 被表彰者は、施工企業の代表者（共同企業体の場合にあっては、構成員のそれぞれの代表者）及びその工事を担当した監理技術者等とする。

(事務局)

第8条 事務局は、技術管理課に置く。

(補 則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、昭和55年5月1日から施行する。

平成10年3月27日一部改訂
平成12年4月1日一部改訂
平成16年4月1日一部改訂
平成18年4月1日一部改訂
平成19年4月1日一部改訂
平成20年4月1日一部改訂
平成21年6月1日一部改正
平成22年4月28日一部改正
平成23年4月25日一部改正
平成24年4月1日一部改正
平成28年2月9日一部改正
平成29年3月9日一部改正
平成30年3月16日一部改正

※上記要綱内の「別表第1」及び「別表第2」の構成員は、P36の名簿参照のこと。

第9回 秋田県優良業務表彰 業務一覽表

測量業務部門

番号	委託業務名	路河川名 /地区名	受注者名	代表者名	発注公所
1	下新城地区工業団地測量業務委託 04-CHY10-Y2	下新城地区 工業団地	株式会社ウヌマ地域総研	鶴沼 順之	産業集積課
2	用地測量業務委託 04-I890-Y3	国道285号	小川測量設計株式会社	鈴木 好和	北秋田地域振興局
3	戸島地区 農地集積加速化基盤 整備業務委託 10202-Y08	戸島地区	一般社団法人秋田県林 業コンサルタント	清水 謙	秋田地域振興局

地質調査業務部門

番号	委託業務名	路河川名 /地区名	受注者名	代表者名	発注公所
1	秋田第9(由利)地区 震災対策農 業水利施設整備業務委託 40502-Y02	秋田第9 (由利)地区	柴田工事調査株式会社	五十嵐 誠	由利地域振興局
2	地質調査業務委託 03-L514-Y2	生出谷地沢	小川測量設計株式会社	鈴木 好和	由利地域振興局

土木設計業務部門

番号	委託業務名	路河川名 /地区名	受注者名	代表者名	発注公所
1	令和4年度上中神地区森林土木 効率化等技術開発業務委託 RI1117B011	上中神地区	一般社団法人秋田県林 業コンサルタント	清水 謙	森林整備課
2	災害査定調査事業 河川災測量 設計業務委託 04-8003-YE	三種川 ほか	創和技術株式会社	伊藤 隆喜	山本地域振興局
3	河川災測量設計業務委託 04-8004-Yb	新波川 外	株式会社ウヌマ地域総研	鶴沼 順之	秋田地域振興局
4	秋田湾産業新拠点[A-BIZ]道 路設計業務委託 03-IJM10-Y1	秋田湾産業 新拠点 (A-BIZ)	セントラルコンサルタント 株式会社 東北支社 秋田営業所	佐藤 大起	産業集積課
5	橋梁補修補強工法比較検討業務 委託 03-G852-Y1	釈迦内花岡 白沢線	株式会社復建技術コンサ ルタント 秋田支店	今野 勝範	北秋田地域振興局

調査点検等業務部門

番号	委託業務名	路河川名 /地区名	受注者名	代表者名	発注公所
1	地方道路交付金事業(効果促進) 橋梁点検等業務委託 03-F199-Y1	国道103号 ほか	柴田工事調査株式会社	五十嵐 誠	鹿角地域振興局

用地調査等業務部門

番号	委託業務名	路河川名 /地区名	受注者名	代表者名	発注公所
1	蛭野・角間川堰地区 かんがい排 水業務委託 00405-Y01	蛭野・角間川 堰地区	株式会社第一補償コンサ ルタント	伊藤 高広	平鹿地域振興局

◆業務概要			
委託名	下新城地区工業団地測量業務委託 04-CHY10-Y2		
地区名	下新城地区工業団地		
商号又は名称	株式会社ウヌマ地域総研		
請負額	9,579,900円	種別	測量業務
代表者	代表取締役 鶴沼 順之		
管理技術者	石綿 智幸		
発注公所	産業集積課		
主任調査員	石川 拓磨	調査員	古関 建太
工期	令和4年5月20日 令和4年9月16日	完成年月日	令和4年9月16日
概要	2級基準点測量 N=1点 4級基準点測量 N=51点 現地測量 A=0.130km ² 路線測量 L=0.38km		

◆受注者の声

1. 業務の特徴
 下新城地区工業団地の宅地造成に伴い現地状況を把握するため、当該地区の基準点測量～現地測量～路線測量を実施した。基準点測量実施時には、近傍に上位等級与点が存しないことからスマートサーベイプロジェクトの活用(電子基準点のみを既知点とした2級基準点測量)を提案した。現地測量については、草木繁茂の影響による作業難航が想定されたため、UAVレーザによる三次元点群測量の提案を行い、取得した三次元データは地形補測に活用し、精度向上並びに作業の効率化を図った。また、作業の効率化を図れたことで令和4年8月発生 of 災害対応を行いながらも、当初工期通りに納品した。

2. 業務において工夫した点

- ①安全かつ迅速に地形データを取得するため、三次元点群測量(UAVレーザ)を活用し、そのデータを現地測量の補測などに活用するなど、業務の効率化・高度化を図った。〈BIM/CIMへの展開〉
- ②三次元データにより、可視化が図られ、全体をより詳細に把握することが可能となった。
- ③三次元データを取得し、整備計画(設計)時に活用できる基礎データとした。
- ④UAVレーザを活用し、基準点の増設・除草作業を必要最小限に抑えることが可能となった。
- ⑤スマートサーベイプロジェクトやUAVレーザの活用により、作業期間の短縮化と災害業務との平行作業が可能となった。



ドローンレーザ



取得した点群



データの可視化

◆発注公所の所見

本業務は、工業団地を造成するために必要となる地形測量等を行う業務である。現地は松の木が密集し、見通しがきかない環境であるため、難航するものであったが、自発的にUAVレーザ測量を活用し、業務を円滑に遂行した。現地状況をよく把握したうえでの適切な提案であり、そのための資料整理や説明が的確に行われ、発注者が求める以上の成果を納めた。

◆業務概要

委託名	用地測量業務委託 04-I890-Y3		
地区名	国道285号		
商号又は名称	小川測量設計株式会社		
請負額	15,340,600円	種別	測量業務
代表者	代表取締役 鈴木 好和		
管理技術者	畑山 慶之		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任調査員	宮崎 栄人	調査員	佐々木 陸
工期	令和4年11月11日 令和5年3月24日	完成年月日	令和5年3月24日
概要	用地測量 A=40,800m ² 用地幅杭設置測量 L=0.48km		

◆受注者の声

1. 《本業務の特徴》

本業務は、国道285号のバイパス整備区間を対象に用地測量を実施したものである。整備区間の現道においては、上小阿仁村及び地元住民から整備の要望書が提出され、早期の道路整備が望まれる区間である。

2. 《業務遂行上の課題》

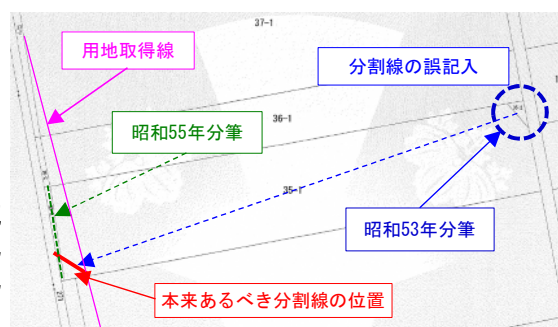
- ① 厳しい工期（積雪前の境界立会の実施）
- ② 公図の誤り（分割線の誤記入）により用地取得ができない。
- ③ 取得地の登記申請時期が未定である。

3. 《上記課題の解決に向けて工夫した点》

- ① 関係者に個別対応を行い、立会日程の内諾を得て、少量の積雪の中で境界立会を行った。
- ② 本事案に係る訂正（案）を発注者に提案した。公図の訂正方法が複雑であり、用地取得前に訂正する必要があった。管轄法務局の登記官との協議に発注者と共に説明し、訂正方法についての合意を得た。
- ③ 来年も田の作付けを予定していることから、境界杭・幅杭等については、全点写真撮影し、今後の登記に反映できるようにした。また、用地実測図は、記載内容の変更へ対応できるように、インクジェットによる印刷ではなく、インクにより作画をした。



【業務委託図】




【公 図】

◆発注公所の所見

本件は、国道285号のバイパス整備に伴う用地測量を行うものである。田圃における用地測量は、本格的な積雪前に境界確認を完了させる必要があるが、極めてタイトなスケジュールの中で迅速かつ適切に業務を完了させた。また、法務局との協議により、円滑な登記申請が可能な図書を作成した。土地所有者との境界確認実施にあたっては、密な連絡により全員と日程調整ができており、高く評価できる。

◆業務概要			
委託名	戸島地区 農地集積加速化基盤整備業務委託 10202-Y08		
地区名	戸島地区		
商号又は名称	一般社団法人秋田県林業コンサルタント		
請負額	9,362,100円	種別	測量業務
代表者	理事長 清水 謙		
管理技術者	鈴木 大也		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任調査員	佐藤 奈津子	調査員	高野 尚紀
工期	令和4年7月15日 令和5年2月24日	完成年月日	令和5年2月24日
概要	整備区域境界測量 A=2.8ha		

◆受注者の声	
<p>【業務の特徴】 本業務の対象区域は、秋田市河辺にある主要地方道秋田御所野雄和線および日本海沿岸東北自動車道秋田空港インターチェンジに近接した農地である。農地としての使用が始まってから長い年月が立ち、先進的な技術を応用した効率的な営農を実施するには不十分な環境となったことから、新たにほ場整備等の工事を実施するために、区画整理区域における整備区域境界測量として、3級基準点測量・4級基準点測量・用地測量を実施した。</p> <p>【業務実施上の留意点・工夫点】</p> <p>①現地での測量作業にあたって 業務対象区域では、業務実施時においても水田として耕作が実施されていたため、移動車の停車場所や作業時間について、農業関係者の作業の妨げとならないよう留意した。また、GPS測量による基準点観測にあたっては、観測点近くにおける背の高い樹木や建造物が電場受信の障害物となり、衛星の電波を十分受信できず測量精度が低下することから、入念な現地踏査により基準点位置を選定するよう工夫した。</p> <p>②公共用地境界確定協議の実施にあたって 業務対象区域内において秋田市所管の道路・水路、主要地方道秋田御所野雄和線、日本海沿岸東北自動車道用地の境界が接している箇所があることが確認された。この点に留意し、秋田市、秋田県、東日本高速道路株式会社の三者と公共用地境界確定協議を実施し、区域境界を確定した。</p> <p>③作業員間および受注者－他受注者間の調整にあたって 品質の高い成果品を作成するという点に留意し、作業員間で1週間に1度のミーティングを実施し、定期的に工程の進捗を確認するよう工夫した。また、本業務は戸島地区における他の整備区域境界測量業務委託（計4件）と同時期の発注となったため、他受注者とも打合せを実施し、作業が適切に実施できるよう努めた。</p>	 <p>3級基準点測量の実施状況</p>

◆発注公所の所見	
<p>現地での測量作業は秋の稲刈り後から降雪前までの短期間で完了させ、地権者の立会確認を得る必要があった上に、区画整理実施設計区域設定のために分筆測量を追加したが、作業の効率化や境界立会の円滑化に努め業務を遂行した。また、県道、秋田市所管道水路、日沿道用地など公的用地についても、関係機関との連絡を密にしながら、現場状況や検討事項について詳細な説明を行い、遅延無く業務遂行できたことは評価できる。</p>	

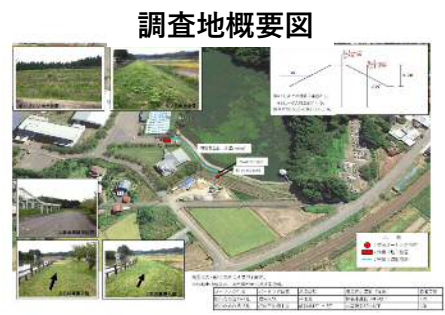
◆業務概要			
委託名	秋田第9（由利）地区 震災対策農業水利施設整備業務委託 40502-Y02		
地区名	秋田第9（由利）地区		
商号又は名称	柴田工事調査株式会社		
請負額	9,947,300 円	種別	地質・土質調査業務
代表者	代表取締役 五十嵐 誠		
管理技術者	田口 佳紀		
発注公所	由利地域振興局（農林部）		
主任調査員	大門 晃	調査員	三浦 大佑
工期	令和4年8月26日 令和5年3月10日	完成年月日	令和5年3月8日
概要	ため池地質調査 N=4箇所 総合解析とりまとめ N=1式		

◆受注者の声

本業務は地形・地質条件の異なる管内4箇所のため池において、耐震性の検討に必要な堤体本体、並びに堤体基礎地盤の地層構成や土質性状等を把握することを目的として、機械ボーリング調査、地下水位観測、各種原位置・室内土質試験を実施した。

1. ため池の状況に応じた作業計画の立案

各ため池ごとに現地踏査した結果を「調査地概要図」にとりまとめ、調査員と協議し、了解を得てから「現地作業計画」の立案を行った。「調査地概要図」には、最適なボーリング調査位置の提案、資機材運搬ルートを選定案、作業車の駐車位置案を記載し、現場状況が視覚的に解る資料を作成した。また、「現地作業計画書」には調査方針、作業工程、資機材運搬方法、足場仮設工法、安全対策を明示した資料にて提案し、調査員と打合せを行い、現場における意識の共有を図った。



2. 円滑な業務遂行の実施

ボーリング作業の進捗状況は、随時、調査員、耐震照査業務受注者に報告し共有化を図った。報告に当たっては、概略柱状図、概略地質断面図を提示し、耐震照査者と連絡を密にしたことにより、設計的視点からの提案を得て、現場透水試験方法の変更、サンプリング深度の決定、土質試験項目の追加など円滑に行うことができた。同時に、その先3日間の作業予定を提示することにより、立会検尺日時の調整が可能となり、作業が滞ることなく対応することができた。



ボーリング作業状況

◆発注公所の所見

本業務は、調査箇所が点在し、各ため池管理者との調整にも留意しなければならない業務であったが、ため池の状況を把握した上での的確な説明や密な連絡により、常に情報共有しながら円滑に業務を完成させることができた。また、作業前には現場条件に応じた資機材運搬や試験方法等について適切に提案されたほか、業務打合せや納品時には丁寧な説明が行われ、調査後の水位観測等に関しても意見が出されるなど、十分な技術力が発揮された。

◆業務概要			
委託名	地質調査業務委託 03-L514-Y2		
地区名	生出谷地沢		
商号又は名称	小川測量設計株式会社		
請負額	7,205,000 円	種別	地質・土質調査業務
代表者	代表取締役 鈴木 好和		
管理技術者	伊藤 昇		
発注公所	由利地域振興局（建設部）		
主任調査員	伊藤 茂樹	調査員	芳賀 望美
工期	令和4年6月24日 令和4年10月31日	完成年月日	令和4年10月31日
概要	機械ボーリング（4孔） L=41m 標準貫入試験 N=41回 解析等調査 N=1式		

◆受注者の声

【業務の特徴】
 本業務は、土石流危険渓流である生出谷地沢において、砂防堰堤設計に必要な地質状況及び地盤定数等の基礎資料を得ることを目的として実施したものである。生出谷地沢は、令和2年9月の豪雨時に流域からの発生土砂が国道108号及び家屋・耕作地に流出した。このため、砂防事業として土砂災害の再発及び土石流災害を防止し、国道及び人家の保全を目的として砂防堰堤及び溪流保全工を新たに整備する計画で、測量業務と砂防施設詳細設計業務も同時発注された。

【業務遂行上の課題】

- ①ボーリング作業は、設計・測量業者による堰堤位置計画と測量成果が得られてからの実施となるため、取りまとめ作業を含めた業務全体の工程管理が必要となった。
- ②本業務は、砂防堰堤詳細設計業務との並行作業となっているため、ボーリング調査の進捗状況と堀止め判断について、業務関係者（発注者、設計業者）の情報共有化を図る必要がある。
- ③ボーリング資材等の搬入路は、国道108号脇の溪流出口に該当する。この場所は道路曲線部で、令和2年9月の土砂流出時の応急対策として大型土のうが設置され道路幅員が減少している。

【課題の解決に向けて工夫した点】

- ①ボーリング開始前に現地調査により、モノレール運搬やポボーリング足場に対する計画立案して、現場作業工程の短縮を図った。
- ②当日のボーリング調査結果（仮ボーリング柱状図、仮地質断面図）と翌日の作業予定を業務関係者（発注者、設計業者）に、夕方までにメールでの報告を行うクイックレスポンスを実践し、堀止め深度の決定判断や検尺立会い時期の目安が容易になり、情報の共有化と現場作業の効率向上を図った。
- ③適切な警告板設置や交通誘導員の配置計画による道路使用許可申請書を提出し、交通安全対策を実施した。



交通安全対策

◆発注公所の所見

本業務は、土石流危険渓流である生出谷地沢における砂防堰堤の設計にあたって、地盤状況を確認するために実施した地質調査業務である。
 同時に発注した測量業務、詳細設計業務と連携しながらの業務であったが、監督員及び委託業務受注者との情報共有を密に行い、円滑な業務の遂行に取り組んだ。また、現地の地盤状況に応じた適切な提案があり、そのための資料整理、説明が的確に行われた。

◆業務概要			
委託名	令和4年度上中神地区森林土木効率化等技術開発業務委託 RI1117B011		
地区名	上中神地区		
商号又は名称	一般社団法人秋田県林業コンサルタント		
請負額	5,082,000 円	種別	詳細設計
代表者	理事長 清水 謙		
管理技術者	阿部 実		
発注公所	森林整備課		
主任調査員	畠山 市成	調査員	小野 圭
工期	令和4年7月11日 令和5年3月24日	完成年月日	令和5年3月22日
概要	計画作成等業務・設計業務 N=1式（木製治山ダム・木製構造物設計）		


◆受注者の声	
【業務の特徴】	<p>農林水産省により2021年に木材利用促進計画が改正され、脱炭素社会の実現のためには、より一層木材の活用を推進することが求められている。このような状況をふまえ、男鹿市のほぼ中央に位置する上中神地区を事例地域とし、木製構造物の設計および積算に加え、木製建築物の現状把握、素材別の二酸化炭素排出量や経済波及効果等をふまえた木製構造物の優位性評価を実施した。更に、他素材構造物と比較した木製構造物の優位性を算出できるソフトウェアの開発を検討することにより、県産材の利活用促進の一助となる資料としてとりまとめた。</p>
【業務実施上の留意点・工夫点】	<p>①木製建築物の現状に関する調査 県内の素材生産量をみると、建築用材への利用が8割を超えていることから、木材の利活用において木製建築物は重要な存在である。この点に留意し、木製建築物、その中でも特に住宅に焦点を当てて現状を調査した。既に住宅での木材利用が8割を超えており、使用する木材の総量を大きく増やすことは難しいと考えられたことから、住宅用部材の樹種および生産国について調査し、外材からの転換を図ることで、県産材の使用量が増える可能性を示すよう工夫した。</p> <p>②多方面からみた木製構造物の優位性評価 近年の物価高騰等を踏まえると、施工にかかるコスト面からの評価だけでは、木製構造物は他素材製に劣る可能性が高い。この点に留意し、資源の採取から製品の製造・廃棄までの二酸化炭素排出量（ライフサイクルGHG排出量）のほか、炭素貯蔵量、県内の各種産業に対する経済波及効果といった多方面から木製構造物の優位性を評価するよう工夫した。</p> <p>③木製構造物の優位性を算出するソフトウェアの開発（本年度は開発の方向性を提示） 本ソフトウェアは、多様な指標から木製構造物の優位性を示して木材の利活用を促進するためのツールと位置付け、素材別の施工費用や二酸化炭素排出量、地元経済への貢献度等を算出できるよう工夫することとした。地元経済への貢献度は、秋田県産業関連表の「経済波及効果分析ツール」を活用して算出することとした。</p>

◆発注公所の所見	
	<p>本県のスギ人工林面積は全国一で、その約5割が主伐期を迎える中、当該業務は、公共工事等へ県産材を使用することの優位性を環境負荷や経済波及効果など多面的に検証し、それを定量的に可視化することを目的にしており、森林環境や林業全般に渡る広い分野に精通した知識が必要となるものであったが、多方面から詳細な分析がなされており、仕様に即した成果が得られた。</p>


◆業務概要			
委託名	災害査定調査事業 河川災測量設計業務委託 04-8003-YE		
地区名	三種川 ほか		
商号又は名称	創和技術株式会社		
請負額	27,166,700 円	種別	詳細設計
代表者	代表取締役 伊藤 隆喜		
管理技術者	梅田 史郎		
発注公所	山本地域振興局（建設部）		
主任調査員	児玉 光広	調査員	柏木 俊亮
工期	令和4年8月23日 令和5年3月24日	完成年月日	令和5年3月24日
概要	基準点測量 N=22点、現地測量 A=0.067km ² 路線測量 L=0.78km 護岸詳細設計 L=1,245m 災害査定資料作成 N=1式		

◆受注者の声

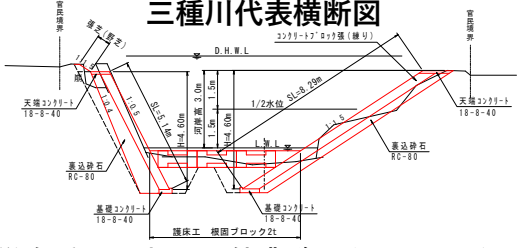
【業務概要】
 本業務は、令和4年8月9日～16日の豪雨で異常出水により被災した山本郡藤里町の小比内川、薄井沢川及び山本郡三種町の谷地沢川、三種川(小出～新屋敷)において災害復旧に向けた、現地測量、護岸設計、現地写真撮影を行い、災害査定に必要な資料を作成したものである。



薄井沢川被災状況



軟岩が風化し河床洗掘が進行
三種川河床状況



三種川代表横断面図

【技術的に気がつけた点及び工夫した点】

- ①薄井沢川の設計では、隣接する町道の盛土法面も被災を受けており、他業務で行っている道路災害申請との整合を図る必要があった。
- ②三種川(小出～新屋敷)は、川幅が狭く蛇行し、河床勾配が急な谷底平野に位置する。被災箇所は、河床中心部や水衝部に集中しており洗掘が著しく、被災箇所に接続する健全護岸との保護対策の検討を必要とした。
 業務の遂行にあたっては、担当調査員と合同で現地状況の確認を行った。三種川では護岸の復旧を含め、河床洗掘による再度災害防止及び河床の安定を図る目的で帯工・護床工を設置した。

【苦勞した点】
 査定までの期間が2ヶ月弱と短く、業務箇所(小比内川、薄井沢川及び谷地沢川、三種川)が直線距離で約30km離れており、測量と現地踏査を兼ねるとともに、限られた時間内で業務を遂行した。

◆発注公所の所見

本業務は災害査定までの短期間で、藤里町、三種町の点在している被災箇所の測量、設計等を行い、査定申請に必要な資料を作成する業務である。
 被災箇所毎に異なる河川特性、被災状況の把握などが求められる中、管理技術者は業務内容に対し深い知識を有しており、迅速に業務が遂行され、被災原因に対して適切な対策工法の検討を行い、復旧工法として採択されている。

◆業務概要			
委託名	河川災測量設計業務委託 04-8004-Yb		
地区名	新波川 外		
商号又は名称	株式会社ウヌマ地域総研		
請負額	25,179,000 円	種別	詳細設計
代表者	代表取締役 鶴沼 順之		
管理技術者	赤川 浩輝		
発注公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任調査員	鈴木 友樹	調査員	木村 文音
工期	令和4年9月2日 令和5年1月31日	完成年月日	令和5年1月31日
概要	現地測量 A=0.023km ² 路線測量 L=0.51km 護岸詳細設計 N=10箇所 災害査定資料作成 N=1式		

◆受注者の声

1. 業務の特徴
 本業務は、令和4年8月2日～3日、9日～16日に発生した前線性豪雨により被災した、河川管理施設（護岸等）の復旧に向け、秋田地域振興局管内の10箇所を対象に、災害査定のための調査・測量設計、工事発注に向けた設計図作成、数量計算を実施したものである。
 災害発生から査定までの2ヶ月内で、最適な構造形式や施工方法の検討、査定資料を作成する必要があった。また、被災箇所の雄物川水系（新波川、神ヶ村川、繋川）は、軟弱地盤対策としての鋼矢板基礎構造を検討する必要があった。

2. 業務において工夫した点
 ①初動段階で、被災状況及びその規模を的確に把握し、迅速に起終点を設定するため、UAVを活用した現地調査を行った。さらに、空中写真を用いた解りやすい災害査定資料等を作成することで、受発注者間でのイメージ共有を行った。
 ②査定の段階から、複数の施工計画案を比較検討し、実施設計時の修正や手戻り防止を図った。
 ③類似業務の経験を踏まえて、独自に作成した「災害業務 照査要領」をもとに、検討・準備の不足等、取りこぼし防止を図った。



現地調査状況



UAV空撮



護岸復旧構造検討

◆発注公所の所見

本業務は、令和4年8月2日～3日並びに令和4年8月9日～16日豪雨による災害査定申請資料作成のための測量・設計業務である。迅速な対応が求められる業務であったが、UAV等を活用し現地状況の把握に努めたことに加え、空中写真を用いた資料を作成し受発注者間でのイメージ共有をはかることで手戻り等無く業務を遂行することができた。また、査定段階から複数の施工計画案を比較検討し、より実施設計に近い計画を立案したことは高く評価できる。

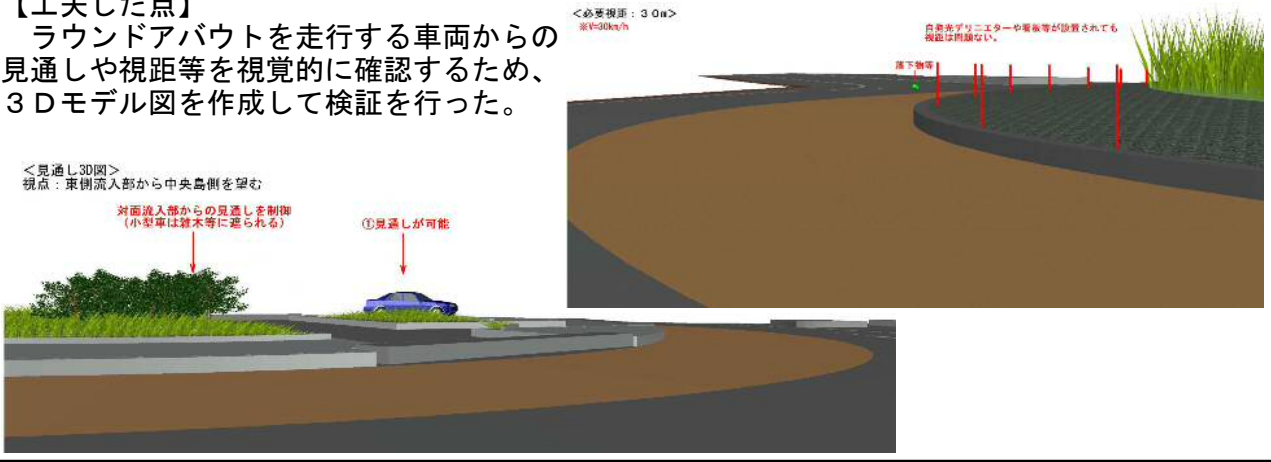
◆業務概要			
委託名	秋田湾産業新拠点 [A-B I Z] 道路設計業務委託 03-IJM10-Y1		
地区名	秋田湾産業新拠点 (A-B I Z)		
商号又は名称	セントラルコンサルタント株式会社 東北支社 秋田営業所		
請負額	21,751,400 円	種別	詳細設計
代表者	所長 佐藤 大起		
管理技術者	奥城 洋		
発注公所	産業集積課		
主任調査員	石川 拓磨	調査員	古関 建太
工期	令和3年8月6日 令和4年9月9日	完成年月日	令和4年9月9日
概要	道路詳細設計 N=1.17km 環状交差点・平面交差点予備設計 N=1箇所 排水路・配水管設計 N=1式 交差点・歩道詳細設計 N=1式		

◆受注者の声

【業務の概要】
 本業務は、秋田県産業新拠点 [A-B I Z] (秋田市飯島古道下川端) の道路設計を実施したものである。

【主な課題と対応策 (交差点形式の選定)】
 現況は主道路である4車線の臨港道路が東～南の急カーブ部に、2車線の臨港道路が西側に従道路として取り付く無信号の丁字交差点である中で、北側に新設臨港道路を接続して4枝交差点とする必要があった。主道路に右左折が生じることから、いずれの交通制御方式としても変則的な交差点形状となる。そこで、信号制御、一時停止制御、ラウンドアバウトより、15案の交差点計画を行い、比較検討を実施して、安全性、利用者へのサービス (遅れ時間抑制)、沿道区画への影響、災害発生時の対応、経済性 (LCC) から優位となるラウンドアバウト案を選定した。

【工夫した点】
 ラウンドアバウトを走行する車両からの見通しや視距等を視覚的に確認するため、3Dモデル図を作成して検証を行った。



◆発注公所の所見





本業務は、工業団地内の新設道路設計、既設道路との交差点設計及び交差点改良を実施するうえで必要となる埋設物移設計を行ったものである
 予備設計及び詳細設計を行う中、関係者から出た多岐にわたる意見を的確に取り込み、調和のとれた提案が行われた。作成された資料も分かりやすく、関係者協議の円滑な進行に貢献した。

◆業務概要			
委託名	橋梁補修補強工法比較検討業務委託 03-G852-Y1		
地区名	釈迦内花岡白沢線		
商号又は名称	株式会社復建技術コンサルタント 秋田支店		
請負額	18,959,600円	種別	詳細設計
代表者	支店長 今野 勝範		
管理技術者	小関 憲一		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任調査員	齋藤 直人	調査員	佐藤 博重
工期	令和4年2月4日 令和5年1月27日	完成年月日	令和5年1月27日
概要	新松峯橋 L=77.0m 橋梁予備設計 N=1式 一般調査 N=1式		

◆受注者の声	
【業務の特徴】	<ul style="list-style-type: none"> ・一般県道釈迦内花岡白沢線は、重要物流道路として重要な役割を果たしている。 ・新松峯橋は昭和42年に2等橋（設計活荷重TL-14）として架設された橋で老朽化している。 ・現橋を補修補強するには多額の費用を要するため、架け替えも視野に入れた検討が必要。 <p>本業務のポイントは下記2点である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①現橋を補修補強して利用するか、または新設橋に架け替えるか。 ②架け替える場合はどこに架け替えるか。（上流側、現橋位置、下流側） <p>以上より、本業務の検討ケースは大きく分けて下記3案について実施した。</p>
◆検討ケース	<p>第1案：現橋を補修補強して利用 [現橋補修補強+幅員拡幅（片側交互通行）]</p> <p>第2案：現橋の原位置に架替え [2径間連結ポステンコンポ橋（仮橋あり）]</p> <p>第3案：現橋の下流側に別線で新設橋を架設 [2径間連続鋼I桁橋（仮橋なし）] …採用</p>
【技術的に気をつけた点】	<p>仮橋は多額の費用がかかるため、以下のようにできるだけ仮橋を回避する方法を考えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現橋を補修補強して利用する案は、幅員を拡幅して半断面施工（片側交互通行）とした。 ・別線で新設橋を架設する案は、現橋供用期間中に工事を行うものとした。
【苦労した点】	<p>現橋は古い基準で設計・架設されているため耐荷力・耐震性とも基準を大幅（160%以上）に下回っており、床版・主桁・橋脚（柱・ケーソン基礎）に対する大がかりな補強検討を要した。また、幅員が6.0mと狭い上、2主桁の合成鉄桁橋であることから施工計画に時間を要した。</p>
【工夫した点】	<p>現橋の橋脚補強工法は河積阻害率の問題を解決できる「PP工法（ポリマーセメントモルタル巻き立て工法）」を採用した。また、別線で新設橋を架設する場合は橋梁費が全体事業費の大半（約68%）を占めるため、直線橋で橋長が短くなる下流側ルートを選定した。</p>

◆発注公所の所見	
	<p>本業務は、釈迦内花岡白沢線の新松峯橋の老朽化等に伴う対策工法の検討業務である。</p> <p>①現橋活用案、②現位置架替え案、③別線架替え案について比較検討を実施し、施工性・経済性・工期等の多様な観点から検討を行った。各案においても、橋梁形式や橋長、幅員、ルート別毎に細かな検討がなされており、早期供用が図られ費用対効果の高い下流側架替え案（直線橋）を選定するなど、技術力が高く、優良業務に資する業務委託である。</p>

◆業務概要			
委託名	地方道路交付金事業（効果促進）橋梁点検等業務委託 03-F199-Y1		
地区名	国道103号 ほか		
商号又は名称	柴田工事調査株式会社		
請負額	9,421,500 円	種別	単純調査等業務
代表者	代表取締役 五十嵐 誠		
管理技術者	澤田 達夫		
発注公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任調査員	佐藤 勝	調査員	兎澤 成
工期	令和4年8月26日 令和5年3月24日	完成年月日	令和5年3月16日
概要	橋梁点検 N=40橋		

◆受注者の声	
<p>【業務の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○橋梁点検において、高精度となる近接目視点検および点検効率の高い機材を選定することで、迅速かつ正確な点検作業を実施することができた。 ○床版の損傷進行が著しい橋梁において、床版の損傷と路面の損傷の関連性を確認するため、損傷重ね図を作成し、損傷進行の原因推定を報告することができた。 ○橋梁点検車が届かない高さの橋梁においては、新技術のUAV活用で橋梁の確認を行い、ひびわれ検出システムならびにコンクリートうき検出システムを併用して近接目視と同等な精度で点検を実施することができた。ロープ点検の代替方法としても活用することができ、作業時の安全性向上においても効果を上げることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○UAV点検を実施する際の最適環境条件を迫る必要があると感じた。作業時の照度、気温、天候等を細分化して、作業時間や損傷検出精度をより高めていく事が課題である。 <p>【苦労した点・工夫した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他業者と乗り合いになる橋梁については、事前協議と日程調整を行うことで、他業者の工程や工事の妨げにならないように配慮した。 ○点検方法の選定では周辺環境や現地状況に合わせ、適切な方法を見つけることで近接目視を行えるようにした。 	
 <p>12mリフト車</p>	 <p>BT-200点検車</p>
 <p>SF77点検車</p>	 <p>UAV点検</p>

◆発注公所の所見	
<p>本業務は、橋梁の劣化・損傷状況を把握するための点検業務である。</p> <p>現地調査では、事前に関係機関との協議を行い、特に水力発電用水路にかかる橋梁においては、水路管理者と十分に調整し、流水中断期間の限られた時間の中で迅速に点検を実施した。</p> <p>また、橋梁点検車で調査できない高さの橋梁については、UAV点検の活用やひびわれやうきを検出するソフトを使用し、近接目視と同等の精度で実施できたことは、高く評価できる。</p>	

◆業務概要			
委託名	蛭野・角間川堰地区 かんがい排水業務委託 00405-Y01		
地区名	蛭野・角間川堰地区		
商号又は名称	株式会社第一補償コンサルタント		
請負額	7,562,500 円	種別	用地調査等業務
代表者	代表取締役 伊藤 高広		
管理技術者	長谷川 直樹		
発注公所	平鹿地域振興局（農林部）		
主任調査員	嶋津 光人	調査員	泉谷 有紀
工期	令和4年7月15日 令和4年9月30日	完成年月日	令和4年9月29日
概要	建物事前調査 N=22棟		

◆受注者の声

【業務概要】
 本業務は、平鹿地域振興局管内で実施される蛭野・角間川堰地区かんがい排水事業（横手市大雄）の施工に伴って、工事振動等の影響を受けることが予測される工事区域周辺の建物等について、工事に着手する前段階において、現在の建物等の状況を把握するための建物等事前調査業務である。


【業務の目的】
 建物等事前調査の目的は、万一工事に起因して近隣の建物や工作物に損傷を与えた場合に、原因の特定を迅速に行い、必要に応じて修復費用の負担（補償）を可能にするために実施するものである。従って、正確であるとともに、調査漏れなどがないように慎重な業務遂行が求められている。

【業務上の課題と対応策】
 建物等事前調査は、建物内外部を細かく調査するため、権利者の理解と協力が必須である。本業務では、発注者が権利者へ調査希望アンケートを実施しており、事前調査の意図を理解している権利者が大半だった。念のため調査内容を記載したチラシを配布し、再度十分な説明を行い、事前調査の必要性を納得していただき調査を実施した。


また、聞き取りにより、調査対象敷地内で井戸水を使用している方が確認されたため、発注者へ報告し協議の結果、水量調査及び水質検査を行うこととした。（水枯渇及び水質汚濁に対する備えである）

建物調査は性格上、権利者との信頼関係の構築が最重要ととらえており、特にファーストコンタクトを大切に日常業務に望んでいる。

【損傷状況写真撮影】



**【井戸調査】
（水質検体採取）**



◆発注公所の所見

本業務では建物内外部を詳細に調査を行うため権利者との信頼関係が第一となるが、現地着手前に調査内容を記載したチラシ配布を行うなど意思疎通を図り、トラブルを発生させることなく業務を完了させた。また、計測する際にデジタル機器を使用し正確性と効率性を実現し品質向上が図られたほか、業務の効率化により全てノー残業で対応するなど業務内容は高く評価できるものである。

秋田県優良業務表彰 選考委員会名簿

選考委員長	副	知	事	神部秀行
選考委員	総	務	部長	長嶋直哉
〃	農	林	水産部長	齋藤正和
〃	建	設	部長	川辺透
〃	出	納	局長	小西弘紀

秋田県優良業務表彰 幹事会名簿

幹事長	建設部建設産業振興統括監	小野潔
幹事	農地整備課長	足立徹
〃	森林環境保全課長	真崎博之
〃	建設政策課長	佐藤寧
〃	技術管理課長	村上龍巳

秋田県優良業務表彰要綱

（表彰の目的）

第1条 県が発注した業務委託のうち、優秀な成績で業務を完了したものを表彰することにより、調査及び設計を行う技術者の育成・確保を図り、もって社会基盤の品質を確保することを目的とする。

（表彰の対象）

第2条 対象は、表彰実施年度の前年度に完了した業務委託とし、秋田県委託業務成績評定に基づき評価されたものとする。

（表彰の名称）

第3条 名称は、「秋田県優良業務表彰」とする。

（表彰の基準）

第4条 次のすべてを満足すること。

- （1）当該業務の成績評定が優秀であること。
- （2）当該業務において事故等による減点がないこと。
- （3）当該企業における各業務の成績が良好であること。
- （4）当該企業において各業務の成果品について追完又は損害賠償が実施されてないこと。
- （5）当該企業において労働災害がないこと。
- （6）他の模範となるものと認められる業務であること。

（選考委員会）

第5条 表彰すべき業務を選定するため選考委員会を置き、その構成は別表第1のとおりとする。

- 2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告に基づいて協議し、表彰すべき業務を決定するものとする。
- 3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。
- 4 幹事会は、事務局が作成した優良業務表彰候補者名簿に基づいて、部門別に当該業務の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。

（表彰）

第6条 被表彰者は、受託企業の代表者（共同企業体の場合にあっては、構成員のそれぞれの代表者）及びその業務を担当した管理技術者とする。

（事務局）

第7条 事務局は、技術管理課に置く。

（補足）

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

平成28年6月1日一部改訂

平成29年3月9日一部改正

平成30年3月16日一部改正

令和元年5月20日一部改正

令和5年3月27日一部改正

※上記要綱内の「別表第1」及び「別表第2」の構成員は、P51の名簿参照のこと

